

『五輪投地次第』について

佐藤 正伸

『¹五輪投地次第』(『五輪次』と略す)は、胎藏界念誦次第の一つである。『五輪次』の標題には『胎藏界念誦次第』とあるが、巻頭の一文に「五輪を地に投じて礼を作し」とあるので『五輪投地次第』といわれる。『五輪次』の作者については空海説と宗叡説とがある。筆者は『五輪次』の作者について、安然の『胎藏大法対受記』(『胎対受記』と略す)を用いて、その作者を宗叡あるいはその門人であるとした。⁽³⁾なぜならば、『胎対受記』に引用されている「正僧正説」すなわち宗叡の説と『五輪次』の説とがほぼ符号するからである。

本論では、まず『五輪投地次第』と『青龍軌』とを比較してその特徴を明らかにする。次に、『五輪次』と『胎対受記』に引用される宗叡の説(正僧正説)とを比較考証してみることにした。『胎対受記』は宗叡の説を引用するだけでなく、東密・台密の先徳の説を多数引用し非常に複雑である。したがって、まず『胎対受記』より「正僧正説」の部分のみを取り出し、『五輪投地次第』との対応表を作成することにした。それが下記の表である。そして両者を比較することによって『五輪次』の特徴を明らかにしてみたい。

二

今日では、東密・台密ともに次第によって修法が行なわれ、決して儀軌を見ながら修法する事はない。次第は修法するのに便利なように、儀軌の説や師口伝等を整理し編纂されたものだからである。胎藏法の場合は『大日経』・『大日経疏』と、『撰大軌』・『広大軌』・『玄法軌』・『青龍軌』という四部軌を重要な典拠として次第が作られる。次第には已達が用いる項目のみを記した略次第もないではないが、実際に修法をしやすくしたものが次第であると言える。

しかし、この定義からすると『五輪次』は必ずしも次第と言えない部分がある。すなわち、『五輪次』は印の記述が中心で真言についてはほとんど説いていない。また『五輪次』の中には「如儀軌」として詳しい説明を儀軌、特に『青龍軌』に譲っている部分が少ない。さらに、『五輪次』には直接修法に関係のないことに関して、『青龍軌』の文句を注釈している部分が見られる。例えば、入仏三昧耶の所で『五輪次』は、『成三法界道者本尊真言印契成就此三法也。界者結大界非世界。当觀於三乘（業カ）道得除宿障』と記す。これは、『青龍軌』が入仏三昧耶の所で説く「纒結此印故能淨如来地。地波羅蜜滿。成三法界道。」という文を解説したものである。この部分を実際作法するについてはあまり関係ない部分である。

『五輪次』は次第という名前では呼ばれているが、これだけでは修法することができず、修法するには必ず『青龍軌』を参考にする必要がある。言い換えると『五輪次』はまだ『青龍軌』の注釈書あるいは聞書的な存在であり、次第としては原初的な形態をとっていると考える。しかし、『五輪次』は『青龍軌』の単なる注釈書ではない部分もある。『五輪次』には、『青龍軌』の説を大幅に改変して用いている部分がある。すなわち、

- ① 『青龍軌』は供養・讚等が終わって十二大院の諸尊の印を結ぶが、『五輪次』は、振鈴・供養・讚等の前で十二大院の諸尊の印を結ぶ。
- ② 『青龍軌』は、如来身会の諸尊の印を道場観の前で結ぶが、『五輪次』は如来身会の諸尊の印を正念誦の前で結ぶ。
- ③ 『青龍軌』は遍智院・観音院・文殊院・除蓋障院・虚空藏院・金剛手院・持明院・釈迦院・最外院の順序で諸尊の印を結ぶが、『五輪次』は遍知院・観音院・金剛手院・持明院・釈迦院・文殊院・除蓋障院・地藏院・虚空藏院・最外院の順序で諸尊の印を結ぶ。

④『五輪次』は『青龍軌』と異なる師伝の印を用いる。

の四点である。すなわち、『五輪次』は単純に『青龍軌』に基づくのではなく、『青龍軌』の構成を大幅に改変している。この点に関しては、『五輪次』は次第と呼ぶことができる。すなわち、儀軌の説を一步進めて用いているのである。この『五輪次』の改変部分はいずれも『胎対受記』に引用されている宗叡の説にその源がある。宗叡は法全から胎藏法を受法しているが、法全について胎藏法を学んだのは宗叡だけではない。円仁・円珍も法全から胎藏法を学んでいる。特に、『胎対受記』によると、円珍は法全から胎藏法を受けたので宗叡の説と比較すると印は相似ると記されている。¹³ 円珍がどのように胎藏法を修していたかは、『胎対受記』をはじめ『三部曼荼』、『胎藏瑜伽記』によって伺うことができる。円珍の説と宗叡の説を比較しても、宗叡の説の方が『青龍軌』を大幅に改変して用いる部分が多い。したがって、『青龍軌』を大幅に改変して用いる宗叡の説は、かなり独自の説であったことが分かる。それを承けて成立したのが『五輪次』である。

三

『五輪次』の内容と『胎対受記』に引用されている宗叡の説とを比較すると両者の内容はよく一致する。しかし、細部に至っては『五輪次』の方が詳しい部分と宗叡の説が詳しい部分がある。また『五輪次』と宗叡の説とは一致しない箇所もある。『五輪次』と宗叡の説の詳しい対照は下記の表に譲るが、『五輪次』の特徴をよく表している部分について検討して行くこととする。

◎施身方便

『五輪次』では施身方便の印を、四礼の初印を用いるとする。すなわち、三昧耶会阿閼の印である。しかし、宗叡の説では金剛合掌し心上にて真言を唱え印を頂に捧げ身足を地に伏す印を用いる。¹⁴

杲宝の『胎藏界念誦次第要集記』によると独股印に三説があるとす。¹⁵ すなわち、①金剛合掌を頂上に安置し自身を独股と観ず。②内縛して二中指を立てあわす。③内縛して二風指を立てあわす。(不動独股印)である。『五輪次』の説は内外の不同はあるが第二説に相当し、宗叡の説についても小異はあるが第一説に相当する。

◎驚発地神

『五輪次』宗叡説ともに驚発地神の前にラン字観を用いる。⁽¹⁶⁾しかし、『青龍軌』は驚発地神の前でラン字観を説いていない。円珍もこの部分ではラン字観を用いない。

◎地神持次第

『五輪次』宗叡説ともに地神持次第に如来拳印を用いる。⁽¹⁷⁾ただ、宗叡説ではさらに詳しく如来拳印を回転させると記す。『青龍軌』では「金剛縛開掌。仰按習三七。覆按亦復然。即成堅固地」とする。ちなみに、『胎対受記』・『胎蔵瑜伽記』によると円珍は智拳印を用いている。『青龍軌』は法全の撰述なので法全は、『青龍軌』では「金剛縛開掌」という印を記し、円珍には智拳印を授け、宗叡には如来拳印を授けている。このように法全の伝授の内容も変化していたことが分かる。

◎器界観

『五輪次』と宗叡の説はともに器界観に如来拳印を用いる。⁽¹⁸⁾『青龍軌』はこの部分で如来拳印を説いていないし、円珍もこの部分で如来拳印を用いない。

◎道場観

『五輪次』は、宗叡の説よりも詳しく「一法界曼荼羅道場四種法身（中略）如来果界中示現」という文句を付加している。

◎四処輪布字・三十二相布字

『五輪次』より宗叡の説の方が四処輪布字については詳しく記す。⁽²³⁾反対に三十二相布字については宗叡の説より『五輪次』の方が詳しい。⁽²⁴⁾道場観の後に、四処輪布字・三十二相布字を用いることは『青龍軌』には説いていない。

◎虚空眼

『五輪次』よりも宗叡の説の方が加持の方法を詳しく記す。すなわち、宗叡の説は虚空眼の用い方を「以印五処了。次拭右目左目右眉左眉。次拳額皆如摩之。印末向左右或著目上。用之」と記す。この用い方について『胎対受記』は、高野和上（空海）

の説と同じであると記す。

◎ 発生仏頂

『五輪次』は蓮華の印と記すが、宗叡の説では蓮華開敷印とする。⁽²⁶⁾

◎ 広生仏頂

『五輪次』は外縛五拵の印を用いるが、宗叡の説では内縛五拵の印を用いる。⁽²⁷⁾ 両者に外縛と内縛の相違がある。

◎ 声聞・縁覚

宗叡の説は声聞の印をもって自身の左に安ずることを説く。また、縁覚の印について、二中指を丸くすることについて錫杖の如しと記す。この錫杖の如しという記述は円珍の『胎藏瑜伽記』にも見られる。⁽²⁸⁾ 『胎藏瑜伽記』は円珍の受法ノートであるので、この部分は法全の口伝を示すものと考えられる。

◎ 財慧

『五輪次』は財慧の印を金剛掌とするが、宗叡の説は印の記述を欠く。

◎ 闕伽

宗叡の説は闕伽の所で「⁽²⁹⁾ 以此本性清浄水。洗浴聖者無垢身。唯願本尊以本願。願垂哀愍受闕伽。」という偈文を説く。

◎ 振鈴

『五輪次』と宗叡の説は、⁽³⁰⁾ 諸尊を勧請してから、闕伽の前にて振鈴を用いる。それに対して、円珍は諸尊勧請の前に振鈴を用いる。⁽³¹⁾

◎ 不動示座

『五輪次』には具体的な方法を記していないが、宗叡の説は「⁽³²⁾ 一示毘盧遮那仏位。二示宝幢仏位。三示華開敷仏位。四示阿弥陀仏位。五示天鼓雷音仏位。六示普賢菩薩位。七示文殊師利菩薩位。八示觀世音菩薩位。九示弥勒菩薩位。十示五髻文殊菩薩位。十一示除蓋障菩薩位。十二示地藏菩薩位。十三示虚空藏菩薩位。十四示釈迦文仏及世天等位。上十四位各各一度指而示之。但至釈迦及世天位唯総一度横引投之。」と記す。

◎塗香

塗香の印は右手の掌を外に向けて左手にて右腕を握る。ただし、腕を握るについて安然是、³³私云大師遺風以定四輪承惠腕下。空輪著握之覆靈巖等伝。以定四輪覆惠腕上。空輪著下握之。今正僧正所伝同之」とする。この記述を信頼すると東密では、塗香の印の左手は現在とは逆の用い方をしていたことになる。

また、宗叡の説には³⁴又云水輪為仏部。火輪為蓮華部。風輪為金剛部。從此三輪流出塗香雲海。供養三部諸尊觀之」とある。これと同様のことが³⁵『胎藏瑜伽記』にあるので、この部分は法全の口伝と考えられる。

◎焼香

宗叡の説は焼香の印の二風指を煙を表すものと見ている。

◎普賢如意珠

『五輪次』は「虚心合掌風如加火不相著」とする。宗叡の説はそれに加えて「二火端少開之」とする。

このほかにも様々な問題はあるが、『五輪次』の特徴的な部分について考察して来た。『五輪次』は『青龍軌』と相違する説を用いる所があることが分かった。又、円珍の説と比較しても少なからず相違する所がある。これまでの考察で『五輪次』には、次の特徴があることが分かった。

- ① 『五輪次』のみでは修法するのに不十分である。『五輪次』は『青龍軌』を合わせて初めて修法が可能である。
- ② 『五輪次』には、『青龍軌』の意味を注釈したり聞書したりする部分がある。
- ③ 『五輪次』には、『青龍軌』を改変して用いる部分がかなりある。このことから、単に儀軌のメモと言うだけでなく、次第としての展開をも示している。

④ 『五輪次』は宗叡の説に基づき作成されている。

⑤ 宗叡の説は円珍の説と一致しない点もあり、かなり独自の説である。

⑥ 宗叡はかなり独自の説を展開しているがその原因の一つとして、法全の伝授の内容もかなり変化していたことが分かる。

註

- (1) 『大師全集』第2輯 454頁、481頁
- (2) 『日本大藏經』第85卷「真言宗事相章疏2」197頁、207頁(鈴木学術財団)『大師全集』は空海撰、『日本大藏經』は宗叡作とする。詳しくは拙稿『五輪投地次第』の作者について(『密教学研究』第20号)を参照していただきたい。
- (3) 拙稿「前掲論文」82頁
- (4) 大正18 848番
- (5) 大正39 1796番
- (6) 大正18 850番
- (7) 大正18 851番
- (8) 大正18 852番
- (9) 大正18 853番
- (10) 『大師全集』第2輯 415頁
- (11) 大正18 145頁上
- (12) 拙稿「前掲論文」77頁。その他、上田靈城「大師御作胎藏次第の考察(一)」(密教学会報23号)、同「大師御作胎藏次第の考察」(密教文化146号)、八田幸雄「胎藏法の構成」(那須政隆博士米寿記念『仏教思想論集』)、同「真言事典」(平河出版社)は、『五輪投地次第』の特徴について触れている。なお、上田靈城、八田幸雄、佐藤正伸の論文は『密教大系』(法蔵館)第九卷「密教の実践」に収録されている。
- (13) 「安然後得宗睿僧正私記」校之。與「睿山記」小同大異。但其印相似「珍和上」。此睿僧正受「法全和上」とある。大正75 54頁中
- (14) 『大師全集』第2輯 454頁、大正75 54頁下、55頁上
- (15) 『真言宗全書』25卷 34頁、35頁
- (16) 『大師全集』第2輯 456頁、大正75卷 56頁中、下
- (17) 『大師全集』第2輯 456頁、大正75 56頁下
- (18) 大正18 145頁下
- (19) 大正75 56頁下
- (20) 『大日本仏教全書』27「智證大師全集第3」953頁
- (21) 『大師全集』第2輯 458頁、大正75 59頁下
- (22) 『大師全集』第2輯 459頁、460頁
- (23) 『大師全集』第2輯 460頁、461頁、大正75 95頁下
- (24) 『大師全集』第2輯 460頁、大正75 95頁下
- (25) 大正75 73頁中
- (26) 『大師全集』第2輯 466頁、大正75 82頁下
- (27) 『大師全集』第2輯 466頁、大正75 82頁下
- (28) 声聞の印 大正75 82頁下、縁覚の印 大正75 83頁上
- (29) 『胎藏瑜伽記』(『大日本仏教全書』)27 962頁上
- (30) 大正75 68頁下
- (31) 『大師全集』第2輯 475頁、大正75 67頁上
- (32) 大正75 67頁上、111頁下
- (33) 大正75 68頁下、69頁上
- (34) 大正75 71頁上
- (35) 『大日本仏教全書』28 955頁上
- 〈キーワード〉胎藏大法受記、五輪投地次第、宗叡、胎藏界念誦次第

「表I」 『五輪投地次第』と宗叡の説対照表

<p>『五輪投地次第』 (『弘法大師全集』第二輯454～481頁)</p>	<p>『胎対受記』 (大正75)</p>
<p>五輪投地作礼。胡跪誦供養文。<small>若有事縁隨テ宜略称仏名</small></p>	<p>◎第一。作礼印 正僧正説。作礼之前。先有五輪投地。而作礼胡跪誦供養文。</p>
<p>次加持香水。</p>	
<p>次作驚覚印三招。<small>初驚道場内衆。次驚三千大千界聖衆。後驚十方不可説界微塵数聖衆也。</small></p>	<p>作驚覚印三招。</p>
<p>作礼方便。印作三昧耶印。從頂下分。為一。拳。即舞掌頂。</p>	<p>云作礼方便印。作三昧耶印。從下分。作一。拳。即舞掌頂。 (大正75 54頁下)</p>

<p>発菩提心 大日定印</p>	<p>施身 四礼初印 <small>観^{スル}自^ミ身^ヲ独^ニ股^ニ杵^ノ相^ト是^レ也</small></p>	<p>帰依 用金剛掌</p>	<p>出罪方便 用大慧刀印</p>
<p>◎第五。菩提心印</p>	<p>◎第四。施身印 正僧正同海説也 〔海大徳説。金剛合掌心上三誦。 次舒二臂以印捧頂身足伏地 形如独股故名独股印也〕 <small>(大正75 54頁下、55頁上)</small></p>	<p>◎第三。帰依印 正僧正用金剛掌 <small>(大正75 54頁下)</small></p>	<p>◎第二。出罪印 正僧正用大慧刀 <small>(大正75 54頁下)</small></p>

<p>廻向 金剛掌当胸<small>ニ若為他人事縁</small>於此發願等</p>	<p>法身。内縛<small>ニシテ</small>豎<small>ニ</small>慧風<small>ノ</small>如鉤召<small>ノ</small></p>	<p>勸請 金剛掌於頂也</p>	<p>隨喜</p>	
<p>◎第九。廻向印</p>	<p>◎第八。奉請印 正僧正說。内縛豎慧風如鉤召 (大正75 55頁上)</p>	<p>◎第七。勸請印 正僧正並同海說 〔海大德說。同前隨喜印也〕 (大正75 55頁上)</p>	<p>◎第六。隨喜印 正僧正金剛合掌於頂也 (大正75 55頁上)</p>	<p>正僧正說。用大日定印也 (大正75 55頁上)</p>

	<p>次正坐觀心中有三重月輪。輪中有阿字云</p>	<p>即入四無量如常</p>	<p>次入仏三昧耶蓮合建二空觸諸支分者。加額肩心喉頂以二空是也。又成三法界道者。本尊真言印契成就此三也。界者結大界。非世界界當觀於三乘道得除宿障。</p>
<p>正僧正同海說<small>但云。若為他有事此処發願</small> 〔海大徳説。金剛合掌心上三誦散頂〕 (大正75 55頁上)</p>	<p>◎第十。三昧耶印 正僧正説。次正坐觀心中有三重月輪。輪中有阿字。</p>	<p>次入四無量心觀。如常説也</p>	<p>次入仏三昧耶蓮合。建二空觸諸支分者。加額肩心喉頂以二空是也。又成三法界道者。本尊真言印</p>

<p>轉法輪。觀自執金剛。結金剛輪印。止觀相背。地水火風左右相</p>	<p>法界生般若三昧。各金剛拳。二空於掌。風幢正直。豎著。地水火中節亦著。以印三遍戴頂。轉於身前。又以二風頭。當臍喉額。即頂上散之。先頂十字間。觀字流出。智火燒身。中罪垢不淨也。</p>	
<p>◎第十二。金剛輪印</p>	<p>◎第十一。法界生印 正僧正說。法界生般若三昧。各作金剛拳。二空在掌。風幢正直。頭相著。地水火中節且著。以印三遍戴頂。轉於身前。又以二風頭。當臍喉額。即頂上散之。注云。先頂上十字間。觀覽字。流出智火。燒淨身中罪垢不淨也。 (大正75 55頁中下)</p>	<p>契成就此三也。界者結大界。非世 界界。當觀於三業道。淨除宿障。 (大正75 55頁中)</p>

<p>次観覽字頂上真言云</p>	<p>環金剛甲三補吒止觀二風持火輪上二空相並在於掌中一又云二空並著二火側印五処環胄如常後拍不必舞一</p>	<p>持二空旋轉合慧掌中三遍加持上下方次八方廻旋次加五処也。上三真言印金剛界三部三昧耶</p>
<p>◎第十四。羅字觀印</p>	<p>◎第十三。金剛甲印 正僧正說。環金剛甲三補吒止觀二風持火輪上二空相並在於掌中一注云。又云。二空並著火側印五処。環甲胄如常。後拍不必舞。又略軌次第 (大正75 56頁上)</p>	<p>正僧正說。轉法輪觀自執金剛結二金剛輪印。止觀相背地水火風右左相持。二空旋轉。合慧掌中三遍注云。加持上下方。次八方廻旋。次加五処也。上三言印如三部三昧耶一 (大正75 55頁下)</p>

無堪忍大護 印有四 第一準普光印。定慧相合。交火入掌。地
 空合。豎風水開立也。第二除憾欠二字。加誦縛字。用六足明王、
 印。內縛建 第三除憾欠縛三字。加誦薄字。用不動劍印。定安
 火也 腰亦用五股印。 第四除上四字。加誦索字。用索印。印相以
 定空。捻風頭。作円環。余準円屈。次以慧空入定環中。捻風頭。為
 環三輪。準定。即成。

正僧正説。頂上字真言 云

(大正75 56頁上)

◎第十五。無能堪忍印

正僧正説。無堪忍大護印有四。第
 一準普光印。定慧於合交火入掌。
 地空合立。風水開立。第二除憾
 欠縛三字。加誦索字。用索印。印
 相以定空。捻風頭。作円環。余
 準円屈。次以慧空入定環中。捻
 風頭。為環三輪。準定。即成。

<p>次^ニ於^テ現^ニ前^ニ觀^ニ具^{セル}点^ヲ羅^字淨^ニ自^心地^ト及^道場^地除^ニ衆^ヲ過^患相^如ニ^{ナラシメテ}虚^ニ</p> <p>空^ノ而^{シテ}誦^{セヨ}地^ノ神^ヲ偈^ヲ先^ツ左^ニ執^テ五^股当^レ胸^ニ以^テ右^ノ手^ヲ平^ニ掌^ニ按^レ地^ヲ偈^云</p> <p>言^ニ曰^ク用^テ奉^請法^身方^便印^ヲ招^ケ云</p>	<p>風頭^ニ作^レ円^環三^輪准^レ定^即成^云</p> <p>(大正75 56頁中)</p> <p>◎第十六。警発地神印</p> <p>正僧正説。警発之前依軌觀白点 羅字。淨自心地及道場地除衆過 患相如虚空。而誦地神偈。注云。先 左執五股当胸。以右手平掌按地。 偈云云。真言云云。(中略)又奉 請法身方便印招之。用地神明</p> <p>(大正75 56頁中下)</p>
<p>持^次第^用如^来拳^ヲ云</p> <p>又^云作^壇同^用上^如来^拳</p>	<p>◎第十七。地神持印</p> <p>正僧正説。次持次第印。以如来拳 運之。謂廻転也。次作壇同用上拳</p>

	<p>次_ニ灑_フ淨_ヲ用_フ三_ノ股_ノ印_ヲ偈_ヲ頌_ス云云</p>	<p>持_ル地_ノ用_フ上_ノ地_ノ神_ノ印_ヲ用_ル儀_モ亦_モ同_シ</p>	<p>次_ニ作_テ定_ヲ印_ヲ觀_{セヨ}阿_ヲ字_ヲ身_中此_ノ身_ノ元_ハ来_タ本_ノ不_レ生_ノ法_ノ性_ノ身_也。雖_レ然_ト依_テ一_ノ念_ヲ邪_ノ執_ヲ分_ニ別_ニ為_ス無_{ナル}明_ヲ妄_ノ想_ノ身_中今_ト以_テ法_ノ界_ノ覽_ノ字_ヲ智_ノ火_ヲ燒_{キムト}淨_ト有_レ為_レ有_レ漏_ノ四_ノ大_ノ五_ノ蘊_ノ諸_ノ不_レ淨_ヲ如_ク是_ノ觀_シ了_テ更_ニ觀_{セヨ}頂_上十_ノ字_ノ間_ニ有_リ覽_ノ字_ヲ從_レ字_ノ光_ノ焰_ノ</p>
<p>印_ニ云_ク出_ス青_ノ龍_ノ寺_ノ別_ニ三_ノ卷_ノ儀_ノ軌_ニ（大正75 56頁下）</p>	<p>◎第十八。灑淨印 正僧正說。先用三古印加持。次誦諸仏等四行偈 （大正75 57頁上）</p>	<p>◎第十九。持地印 正僧正說。用上地神印。用儀亦同 即驚 發印 （大正75 57頁上）</p>	<p>◎第二十。觀羅字燒淨自心地燒 尽法界真言印 正僧正說。次作定印觀阿字身中。</p>

流出遍身燒淨自身清淨如虛空相

如是觀了。又當觀既淨世間不淨身。今即建立出世菩提無為無漏法性淨身。如是觀察。即腰下觀。字。諸法本不生。色黃形方。次腹中觀。縛字。自性離言說。色白形。次胸中觀。覽字。染淨不可得。色赤形三角。次面門觀。含字。因業不可得。色黑形半月。次頭上觀。欠字。等虛空不可得。色種種形。方。也。如是觀了。即作五輪印。

此身元來本不生法身也。雖然而依一念邪執分別為無明妄想身。今以法界智慧火燒淨有為有漏四大五蘊諸不淨。如是觀了。更想頂上十字間者。字。從字。光焰流出遍身。燒淨自身清淨如虛空相。

(大正75 57頁中下)

◎第二十一。以五字嚴身真言印。正僧正說。又當觀既淨世間不淨。則當建立無為無漏法性身。如此觀察。即於腰下觀。阿字。諸法本不生。色黃形方。次於腹中觀。縛字。自

一誦^{ニセヨ}真言^ヲ 第一^{ニハシテ}作^ニ五股印^ヲ誦^{ニセヨ}囊莫三曼多没駄喃阿^ト 第二^{ニハシテ}作^ニ華座印^ヲ誦^{ニセヨ}鑊^ト初^{ハシ}如^シ 第三^{ニハシテ}作^ニ驚覺印^ヲ 第四^{ニハシテ}作^ニ法輪^ノ印^ヲ誦^{ニセヨ} 第五^{ニハシテ}作^ニ地大印^ヲ誦^{ニセヨ}劍文用^ニ大^ニ刀^ヲ印^ヲ 真言初如^シ上^ノ 一^ニ如^ク此^ノ加持^{セヨ}

性離言說。色白形円。次於胸中觀覽字。染淨不可得。色赤形三角。次於面門觀含字。因業不可得。色黑形半月。次於頭上觀欠字。等虛空不可得。色種種。形方円也。如是觀了。即作五輪印。一誦真言。第一印作五古印^{外縛}真言阿^{加縛} 第二印華座印。真言縛^{加縛} 第三印驚覺印^{火輪}真言羅^{加縛} 第四印法輪印。真言訶^{加縛} 第五印地大印^{五古}真言欠^{加縛} 命^{第五} 一^一如^レ此加持了

<p>復次作^ニ金剛合掌^ヲ寂^レ心^ニ分^ニ明^ニ觀^ニ頂^上有^ニ暗^字即^チ為^ル百^光遍照^王可^レレ <small>誦^ス囊^ス莫^ス三^曼多^没駄^南暗^ト下^準之^ニ觀^誦</small></p>	<p>次^ニ心^上觀^ニ阿^字次^ニ胸^中觀^ニ薩^字次^ニ額^上觀^ニ吽^字 <small>間^ヲ謂^ク眉</small>次^ニ二^ノ眼^ノ 上^ニ觀^ニ覽^字又^ニ二^ノ耳^ノ觀^ニ阿^字</p>	<p>次^ニ觀^ニ身^同如^来念^ニ滿^足句^ヲ又^ニ以^テ金^剛掌^誦上^五大^種子^ノ <small>亦^得是^通印^故不^得一^印</small></p>
<p>◎第二十五。満足句印 正僧正説。金剛合掌寂^レ心^ニ觀^下於^ニ頂^上有^ニ真^字成^中百^光遍照^王真^言暗^命 <small>加^帰</small></p>	<p>次^ニ觀^ニ心^上有^ニ真^字次^ニ觀^ニ胸^中有^ニ真^字次^ニ觀^ニ額^上有^ニ真^字次^ニ觀^ニ兩^眼有^ニ真^字次^ニ觀^ニ兩^耳有^ニ真^字</p>	<p>次^ニ觀^ニ身^同如^来念^ニ滿^足句^ヲ用^ニ金^剛合^掌誦^上五^大種^子亦^得是^通印^故不^レ用^ニ一^一印^也 <small>(大正75 59頁中)</small></p>

次当_レ建_二立_ス道場_ヲ。正_ク坐_レ定_ニ住_ニ如_レ来_ニ拳_ニ。下_ノ方_ノ空_ノ界_ニ觀_ニ欠_ケ字_ヲ。变_ニ為_レ虚_ニ空_ト。空

中_ニ有_レ駕_カ。变_ニ為_レ風_ノ輪_ト。次_ニ觀_ニ羅_ヲ鑿_ヲ阿_ヲ变_ニ為_レ火_ノ水_ノ地_ノ輪_ト。形_ノ色_ノ如_レ上_ニ。然_レ後_ニ諦_ニ觀_ニ香

水_ノ海_ノ印_ヲ真_ニ言_ニ

金剛手持_{セリ}蓮_ノ茎_ヲ。内_ニ縛_ス五_ノ股_ノ是_レ也

次_ニ花_ノ台_ノ印_ヲ。外_ニ縛_ス二_ノ火_ノ入_レ掌_ニ。想_ニ以_テ枢_ヲ入_ニ茎_ト中_ニ。想_ニ從_リ台_ノ中_ニ放_ツ大_ノ光_ノ明_ヲ。從_リ光

明_ノ中_ニ現_{シテ}百_ノ千_ノ蓮_ヲ繞_ル蓮_ノ花_ヲ王_ニ此_ノ華_ノ藏_ノ上_ニ大_ノ覺_ノ師_ノ子_ノ座_ヲ在_リ大_ノ宮_ノ殿_ノ中_ニ。云

次_ニ誦_ス偈_ヲ及_ヒ虚_ノ空_ノ藏_ノ明_ノ妃_ヲ。法_ヲ應_シ多_ク誦_ス。即_チ結_ニ金_ノ剛_ノ輪_ノ壇_ノ印_ヲ。如_レ常_ノ定_ノ慧_ノ各_ノ拳_ニ二_ノ地_ノ印_ヲ。即_チ羯_ノ磨_ノ印_ヲ。外_ニ縛_ス二_ノ火_ノ入_レ掌_ニ。以_テ其

◎第二十六。安立器世界印

正僧正說。次建_二立_ス道場_ヲ。先_ニ住_レ定_ニ結_ニ

如_レ来_ニ拳_ニ印_ヲ。下_ノ方_ノ空_ノ界_ニ觀_ニ。阿_ヲ劍_ノ字_ヲ。变_ニ

成_ニ虚_ニ空_ト。空_ニ中_ニ有_レ阿_ノ訶_ノ字_ヲ。变_ニ成_レ風_ノ輪_ト。

次_ニ觀_ニ了_レ羅_ノ字_ヲ。变_ニ成_レ火_ノ輪_ト。次_ニ觀_ニ了_レ鑿_ノ

字_ヲ。变_ニ成_レ水_ノ輪_ト。次_ニ觀_ニ了_レ阿_ノ字_ヲ。变_ニ成_レ地

輪_ト。然_レ後_ニ諦_ニ觀_ニ香_ノ水_ノ海_ヲ。有_レ真_ニ言_ニ印_ヲ。云

(大正75 59頁下、60頁上)

◎第五十九。衆色界道印

正僧正說。前_ニ器_ノ世界_ノ香_ノ海_ノ水_ノ真_ニ言_ニ

次_ニ云_ス。金_ノ剛_ノ手_ノ持_{セリ}蓮_ノ華_ヲ真_ニ言_ニ。次_ニ華_ノ台

印_ヲ。即_チ羯_ノ磨_ノ印_ヲ。外_ニ縛_ス二_ノ火_ノ入_レ掌_ニ。以_テ其

<p>彼、大覺獅子座上、觀_ニ紇_キ利_リ字_ヲ變_{シテ}為_{ナル}大蓮花王。其上普光、淨月輪、輪、中、觀_ニ阿_ヲ字_ヲ轉_{シテ}成_ル大日牟尼尊_{ト云}。正受身遍至衆生界。自如來身。放_テ白色光_ヲ照_ス四菩薩位。次照_ニ第一重院。次照_ニ第二第三院。諸尊。自証法性之身。色相威儀儼然出現。不生而生。不現而見。無尽刹塵。</p>	<p>觀_シ置_ク三重曼荼羅界道_{ヲ云}云 次作_ニ五股印_ヲ誦_{セヨ}羅白_ヲ覽_ニ赤_ヲ迦_ヲ黃_ヲ麼_ヲ青_ヲ賀_ヲ誦_{スルコト}三遍。振_{ルコト}印亦三遍。應_シ處_ニ次反_レ印而擬_シ虛空。次加_レ壇_ニ後三縛身。前想_ニ曼荼羅_ヲ真言曰_ニ云 保會 入_ニ莖_内用_ニ大真_言王_ニ次想台中放_ニ大光明。光明中現_ニ百千蓮華_繞蓮華王。此華藏上師子座大宮殿中。次誦_レ偈。次誦_ニ虛空藏明妃_{即結}金剛輪壇印。先印_ニ五處。次返_レ印印_レ空。次印_ニ壇上。次印_ニ身。前。次布_ニ五色界道_用五胡印。各有_ニ真言_{具如}儀軌。三轉振_レ印 (大正75 64頁下、65頁上)</p>
<p>◎第六十。淨月輪及以布列諸尊種子觀行 正僧正說。於彼大宮殿中大覺師子座上觀_ニ字_ヲ變成_ニ大蓮華台_上。</p>	<p>保會 入_ニ莖_内用_ニ大真_言王_ニ次想台中放_ニ大光明。光明中現_ニ百千蓮華_繞蓮華王。此華藏上師子座大宮殿中。次誦_レ偈。次誦_ニ虛空藏明妃_{即結}金剛輪壇印。先印_ニ五處。次返_レ印印_レ空。次印_ニ壇上。次印_ニ身。前。次布_ニ五色界道_用五胡印。各有_ニ真言_{具如}儀軌。三轉振_レ印 (大正75 64頁下、65頁上)</p>

衆。出_レ現_ス如_レ來_ノ。円_ノ光_ノ之_中。不_レ前_ニ。不_レ後_ニ。不_レ縱_ニ。不_レ横_ニ。坐_ス法_ノ界_ノ道_ノ場_ノ曼_ノ荼_ノ羅_ノ。本_ノ位_ノ。一_ニ。有_リ諸_ノ尊_ノ種_ノ子_ノ。怵_レ繁_レ不_レ記_セ。今_ニ通_ス用_ス三_ノ部_ノ種_ノ子_ノ耳_ノ。不_レ出_テ阿_ノ字_ノ。理_ヲ也_ハ。如_レ是_ノ。一_ニ法_ノ界_ノ曼_ノ荼_ノ羅_ノ道_ノ場_ノ四_ノ種_ノ法_ノ身_ノ妙_ノ色_ノ超_ス三_ノ界_ノ清_ニ淨_ニ離_ニ諸_ノ垢_ヲ非_ス青_ス黃_ス等_ニ離_レ形_ト名_ト相_ト絶_セ有_レ及_ヒ無_ク如_レ是_ノ法_ノ身_ノ本_ノ來_ノ具_ニ足_シ一_ニ切_ニ衆_ノ生_ノ。煩_ノ惱_ノ身_ノ遠_ニ離_シ因_ノ果_ノ法_ノ然_ニ具_シ三_ノ密_ノ相_ノ應_ス速_ニ疾_ニ現_ス十_ノ方_ノ世_ノ界_ノ諸_ノ如_レ來_ノ亦_モ現_シ四_ノ種_ノ法_ノ身_ノ無_レ不_レ利_ニ益_セ諸_ノ衆_ノ生_ノ是_ニ故_ニ我_ノ今_ニ修_ス此_ノ道_ノ此_ノ大_ノ悲_ノ胎_ノ藏_ノ曼_ノ荼_ノ羅_ノ自_リ衆_ノ生_ノ心_ノ處_ノ開_シ發_シ金_ノ剛_ノ界_ノ曼_ノ荼_ノ羅_ノ自_リ如_レ來_ノ果_ノ界_ノ中_ニ示_ス現_ス云_云

有_レ普_ノ光_ノ淨_ノ月_ノ輪_ノ輪_ノ中_ニ觀_テ阿_ノ字_ノ變_レ成_ス大_ノ日_ノ如_レ來_ノ云_云。聖_ノ主_ノ身_ノ口_ノ意_ノ遍_ス至_ス衆_ノ生_ノ界_ノ從_テ如_レ來_ノ身_ノ放_ス白_ノ色_ノ光_ノ照_ス四_ノ仏_ノ四_ノ菩_ノ薩_ノ位_ノ次_ニ照_ス第_一二_三如_レ次_ニ照_ス之_ノ諸_ノ尊_ノ自_レ証_ス法_ノ性_ノ之_ノ身_ノ色_ノ相_ノ威_ノ儀_ノ儼_ニ然_ニ出_レ現_ス不_レ生_ニ而_レ生_ニ不_レ現_ニ而_レ現_ス具_ニ足_ニ無_ク尽_ス刹_ノ塵_ノ之_ノ衆_ノ生_ノ出_レ現_ス如_レ來_ノ円_ノ光_ノ之_中不_レ前_ニ不_レ後_ニ不_レ縱_ニ不_レ横_ニ坐_ス法_ノ界_ノ曼_ノ荼_ノ羅_ノ本_ノ位_ノ注_ス云_云。一_ニ諸_ノ尊_ノ種_ノ繁_ノ故_ノ不_レ記_セ。今_ニ者_ノ通_ス用_ス三_ノ部_ノ種_ノ子_ノ不_レ出_テ阿_ノ字_ノ之_理如_レ是_ノ乃_レ至_ス廣_ク觀_ス云_云

	<p>先_ツ作_シ宝冠_ノ印_ヲ五股_ノ印_ニ是也 住_シ此_ノ印_ニ誦_シ阿字_ヲ加_セ持_ト心額_ト喉_ト臍_ヲ也</p>	<p>次_ニ以_テ明_レ了_ノ心_ヲ觀_セ八曼茶羅_一</p>
<p>◎第二百四十。四处輪布字 正僧正説。此四处輪安上觀曼茶羅後云。次小金剛輪云次五色云</p>	<p>次至第一重院遍知印也 (大正75 65頁下)</p>	<p>次明了心觀八曼茶羅一 先作宝冠印。作此印誦阿字加持云 别有私記四輪布字。次有定印三十二相布字。次有五供印明。次有八印。次有塔印。次有五字印明。次有無所不至。次有百光遍照布字。</p>

次本尊觀。及諸尊位八曼荼羅等。

次云。先以宝冠举手印誦四種阿

字真言加持四处。次以此印安頂

觀。安五種。阿字中引前

暗右引左惡引後。次以甲胄

印火印是也。當額誦仏部阿字輪相繞

各除第五以次以此印如次當喉心

臍亦誦仏部引暗惡字輪相繞。

次蓮華部亦用宝冠举手印誦四

種薩字加持四处。次以此印安頂

五種姿字

次以甲胄印當額喉心臍亦誦蓮

次^ニ以^テ甲^ヲ胄^ヲ印^シ當^テ額^ニ誦^シ仏^ノ部^ノ字^ノ輪^ヲ相^ラ繞^セ喉^ノ心^ノ臍^ノ同^シ上^ニ次^ニ阿^ヲ引^キ暗^ク惡^ク如^ク此^レ

次^ニ第^ニ誦^シ繞^ス如^ク上^ニ輪^ヲ次^ニ蓮^ノ花^ノ部^ノ輪^ヲ誦^シ繞^セ四^ノ種^ノ薩^ノ字^ヲ如^ク上^ニ阿^ヲ字^ノ輪^ヲ又^ニ次^ニ金^ノ剛^ノ部^ノ輪^ヲ誦^シ

繞^ラ四^ノ種^ノ縛^ノ字^ヲ如^ク上^ニ輪^ヲ合^シ三^ノ四^ノ十二^ノ重^ノ法^ヲ次^ニ誦^シ伊^ノ縊^ノ乃^チ至^リ諾^ヲ莫^ヲ三^ノ十二^ノ箇^ノ當^テ齊^ニ相^ラ繞^セ一^ノ遍^ニ想^シ成^ル滿^ク身^ノ光^ノ明^ノ之^ノ相^ト也

華部娑婆引 糝索字輪相繞。次金剛部亦用宝冠拳手印誦四種縛字加持四処。次以此印安頂五種縛字。次以甲胄印當額喉心臍亦誦金剛部縛縛引 鏤莫字輪相繞。都合三十二重法輪曼荼羅具足自身之中。次以甲印誦伊任德乃至諾莫三十二箇字當臍相繞。一遍次布惡字長声輪於伊等之外。次布暗字長声輪於惡字輪外。並以迦引入劍菩薩安額。並用合掌。想成尊身光明之相。

<p>次^ニ大^ニ真^ニ言^ニ王^ニ曰^ニ云^ニ</p>	<p>次^ニ供^ニ以^ニ香^ニ華^ニ等^ニ云^ニ</p>	<p>次^ニ菩^ニ提^ニ心^ニ三^ニ昧^ニ句^ニ等^ニ真^ニ言^ニ云^ニ</p>	<p>次^ニ亦^ニ応^ニ布^ニ三^ニ十^ニ二^ニ相^ニ種^ニ子^ニ住^ニ定^ニ印^ニ可^ニ觀^ニ布^ニ迦^ニ咽^ニ下^ニ法^ニ齧^ニ上^ニ誡^ニ頸^ニ伽^ニ</p> <p>喉^ニ中^ニ遮^ニ舌^ニ根^ニ車^ニ舌^ニ中^ニ惹^ニ舌^ニ端^ニ社^ニ舌^ニ生^ニ吒^ニ脛^ニ吒^ニ脛^ニ腰^ニ茶^ニ安^ニ坐^ニ多^ニ後^ニ分^ニ佗^ニ</p> <p>腹^ニ娜^ニ二^ニ手^ニ馱^ニ二^ニ脅^ニ波^ニ背^ニ頗^ニ胸^ニ麼^ニ二^ニ肘^ニ婆^ニ二^ニ臂^ニ摩^ニ心^ニ上^ニ野^ニ陰^ニ藏^ニ羅^ニ二^ニ眼^ニ擲^ニ</p> <p>広^ニ額^ニ縊^ニ伊^ニ二^ニ背^ニ鳩^ニ烏^ニ二^ニ唇^ニ翳^ニ藹^ニ二^ニ耳^ニ汗^ニ奥^ニ二^ニ頰^ニ暗^ニ菩^ニ提^ニ惡^ニ</p> <p>般^ニ涅^ニ槃^ニ</p> <p>「遍諸支分」</p> <p>「經五偈文」</p> <p>知^ニ是^ニ一^ニ切^ニ法^ニ行^ニ者^ニ成^ニ正^ニ覺^ニ一^ニ切^ニ智^ニ資^ニ財^ニ常^ニ住^ニ於^ニ其^ニ心^ニ</p> <p>世^ニ号^ニ二^ニ切^ニ智^ニ是^ニ謂^ニ薩^ニ婆^ニ若^ニ</p>
	<p>本^ニ云^ニ</p> <p>(大正75 95頁下、96頁上)</p>	<p>次^ニ誦^ニ阿^ニ字^ニ一^ニ番^ニ四^ニ種^ニ真^ニ言^ニ如^ニ青^ニ龍^ニ</p>	<p>次^ニ應^ニ定^ニ印^ニ布^ニ三^ニ十^ニ二^ニ相^ニ種^ニ子^ニ</p>

<p>風^ヲ加^{ヘテ}空^ノ上^{ヘニ}余^{ハセヨ}準^{セヨ}威^ニ德^ニ不^ニ壞^敷</p>	<p>応^シ知^ル八^ニ印^ヲ 蓮^ヲ花^ニ掌^{ニシテ}散^{セヨ}地^ニ風^ヲ威^ニ德^ニ寶^ヲ幢^ニ</p>
<p>△第二。金剛不壞印 正僧正說。同慧和上說 〔慧和上說。不改前印。屈。一風。橫安。二空。上。若如海說。則濫。無所不至〕 (大正75 99頁上)</p>	<p>◎第二百四十二。八秘密印 △第一。大威德生印 正僧正說同海說也 但云蓮華合掌 〔海大德說。(中略) 蓮合散地風者。虚心合掌。二地。二風各開。立之〕 (大正75 98頁下)</p>

<p>二羽合<small>シテクシ</small>如蓮<small>ノ</small>。二空屈<small>シテ</small>並建<small>ヘテヨ</small>火方普賢支分</p>	<p>双地入<small>レテ</small>掌<small>ニ</small>相向<small>フシ</small>同華<small>ニ</small>已上四仏了<small>ル</small></p>	<p>開敷蓮花 或<small>ハ</small>云<small>ク</small>地空合<small>ス</small> 風是蓮花蔵<small>ト</small></p>
<p>△第五。一切支分生印 正僧正説。火方普賢支分蓮華合掌。双立<small>ニ</small>空少屈 (大正75 99頁中)</p>	<p>△第四。万徳莊嚴印 正僧正説。如<small>ニ</small>前華印<small>ニ</small>双地入<small>レ</small>掌 (大正75 99頁上)</p>	<p>△第三。蓮華蔵印 正僧正説同<small>ニ</small>海説<small>ニ</small>也。又云。如<small>ニ</small>海説<small>ニ</small>印但地風空合是蓮華蔵印。 〔海大徳説。(中略) 開敷如<small>ニ</small>蓮華<small>ニ</small>者。二地二空端各柱。余六輪開立。如<small>ニ</small>開敷蓮華<small>ニ</small>〕 (大正75 99頁上)</p>

	<p>金剛掌更互反覆旋 <small>ニシテ</small> 更<small>ニ</small> 互<small>ニ</small> 反<small>シテ</small> 覆<small>シテ</small> 旋<small>セヨ</small> <small>縛</small> 覆<small>セテ</small> 轉<small>スルハ</small> 結<small>ナリ</small> 護<small>ナリ</small> 已上四菩薩了 <small>阿逸多</small> 左覆<small>セテ</small> 轉<small>スルハ</small> 辟除。右</p>	<p>蓮合舒火 <small>シテ</small> 合<small>ハヨ</small> 舒<small>レ</small> 火 <small>涅里底</small> 方妙吉祥。或云<small>ハ</small> 以<small>ニ</small> 八師子座<small>ニ</small> 印<small>ヲ</small> <small>為</small> 文殊印。印相稍屈鉤蓮華印是也</p>	<p>準前屈火 <small>シテ</small> 準<small>ニ</small> 前<small>ニ</small> 屈<small>セヨ</small> 火 <small>伊舍那</small> 方 <small>觀音</small></p>
	<p>△第八。迅疾弥勒印 正僧正説。縛庖方阿逸多左覆轉 辟除。右覆轉結護 (大正75 99頁下)</p>	<p>△第七。文殊師利印 正僧正説。涅里底方妙吉祥。蓮合 舒火。或云。以八師子座印為文殊 印。印相稍屈鉤。蓮華印是也 (大正75 99頁中下)</p>	<p>△第六。世尊陀羅尼 正僧正説。伊舍那方觀音以前印 屈火 (大正75 99頁中)</p>

止觀未敷蓮。阿尾羅峯合。双佉依羅本。二訶橫其端。自処蓮台上。
 四処流出句。出過語言道。為大率堵波。五字無所百光等真言。
 云 先頂觀羅次誦遍照王於
 云 此有布字。可見儀軌也

◎第二百四十三。無所不至印
 正僧正說。似義真阿闍梨說。但出
 攝大軌文。(中略) 攝大儀軌云
 正覺甚深密 出過言語道
 為大卒堵波 四処流出句
 止觀蓮未敷 阿尾羅峯合
 双佉依羅本 二訶橫其端
 遍身布四明 自処華胎上
 〔海大德說。此印是大日印。佉法
 大阿闍梨。自作此印。勿新學者
 輒見聞之。安然緣入唐事。即日
 受之。虛心合掌。屈二風而著二
 空面。意大德說同。權僧正。大和

<p>虚空眼 印<small>如常</small>儀亦同<small>仏眼用</small></p>	<p>次遍智印 自証<small>金剛掌是也。真言一切出一切仏位即遍智位也</small></p>	
<p>◎第八十八。虚空眼印 正僧正説。印及用法如常。常者如</p>	<p>◎第八十六。一切仏心印 正僧正説。同海説也。但云。凡八葉為。為化一切出一切仏位。即遍智位也。第一 〔海大徳説 (中略) 用帰命合掌誦下文一切仏心真言也〕 (大正75 73頁下)</p>	<p>上説。慧和上説。同海説也。是法全阿闍梨説。又様加前印。但二風相著之。而与空面一麦許不相著。是義真阿闍梨説〕 (大正75 99頁下)</p>

<p>七俱胝。大勇猛。大安樂等。可用普通掌一切菩薩心<small>云</small>。凡一切仏無印言用金剛掌一切仏心真言。又一切菩薩無印真言亦用普通掌一切菩薩心真言也。</p> <p>或云。七俱胝根本契相。以地水火相又掌中堅合二火輪二風附火上側二空附風側也。真言如儀軌也。遍智南勇猛安樂用普通掌言也。</p>	
<p>正僧正說。七俱胝印。大勇猛印。大安樂印。三尊印。一切菩薩同海說也。但云。一切諸仏無印真言。用一切仏心印真言。一切菩薩無印真言。亦用普通掌一切菩薩心真言。或云。七俱胝根本印。二地二水交入掌。二火堅合。屈二風著火背。二空著風側。真言如軌第三四五六七私疑別軌</p> <p>(大正75 73頁下)</p>	<p>高野和上說。以印五処了。次拭右目左目右眉左眉。次拳額皆如摩之。印末向左右或著目上用之。第二</p> <p>(大正75 73頁中)</p>

<p>多羅^ハ内^ニ叉^ヘ拳^{ニシテ}風^{ニシテ}針^{ニシテ}空^{ニシテ}附^{ケヨ}風^ノ前^ニ</p>	<p>次^ニ勝^ノ方^ノ觀^ノ自^ノ在^ハ開^{シテ}敷^{シテ}十^ヲ度^ヲ地^ノ空^ノ相^ハ並^{ヘヨ}</p>
<p>◎第九十六。多羅尊印 正僧正説同海説也 第二 〔海大徳説。(中略) 内縛二風 直立。端相柱。二空直豎著二風 側三誦〕 (大正75 74頁中)</p>	<p>◎第九十三。觀自在菩薩印 正僧正説亦同海説 第一 〔海大徳説。(中略) 次觀自在 菩薩印 部主 也 用蓮華印 開敷蓮 華印〕 (大正75 73頁下)</p>
<p>毘俱胝^ハ準^{ニシテ}多羅^ニ交^{ヘヨ}</p>	<p>◎第九十七。毘俱胝印 正僧正説同海説也 第三</p>

<p>耶輸陀羅印相準馬頭拳風輪屈</p>	<p>勢至福智合如未開蓮</p>	
<p>◎第九十九。耶輸陀羅印 正僧正說同海說也 第五 〔海大德說。内縛五股。唯二水入月。相背不相又〕 (大正75 74頁中下)</p>	<p>◎第九十八。大勢至印 正僧正說同海說也 第四 〔海大德說。虚心合掌令普円。如未開蓮華〕 (大正75 74頁中)</p>	<p>〔海大德說。前印進力二指第二節相又。右押左。以是與前印為異也〕 (大正75 74頁中)</p>

白 処 同 勢 至 移 空 水 入 月

馬 頭 準 前 屈 風 空 輪 下 相 去 如 穰 麦

◎ 第一百。白 処 尊 印

正 僧 正 說 同 海 說 也 但 云 同 勢 至 移 空 水 入 月 第六

〔海 大 德 說。即 觀 音 母 也。虛 心 合 掌。二 空 入 月。二 水 相 背。各 入 掌 也〕

(大正 75 74 頁下)

◎ 第九十四。馬 頭 明 王 印

正 僧 正 說。印 相 及 次 第 同 別 記 也 第七

〔別 記 印 相 同 海 說 也 但 云。二 空 相 去。又 以 此 印 安 八 尊 中 与 風 少 許 第七。意 同 說 印 次 第 也 海 大 德 說。虛 心 合 掌。二 水 屈 入 〕

<p>次閻^ニ方^ノ金剛^ノ手^ハ内^ニ縛^{シテ}火^ヲ建^テ合^セ風^ノ如^ク鉤^ノ地^ハ空^ハ相^ハ並^ヨ</p>	<p>諸菩薩及奉教者 同^ク用^ヨ普^ク通^ク掌^ヲ</p>	<p>地藏^ハ同^シ飲^シ食^ノ印^ニ亦^ニ同^シ口^ニ伝^ヘ也^モ經^ト</p>	
<p>◎第四百十五。金剛手菩薩 正僧正亦同 〔海大徳説。(中略)用^ニ五^ノ股^ノ金</p>	<p>〔珍和上説用^ニ鉢^ノ印^ニ。二空持^ニ地 下節〕 (大正75 74頁下)</p>	<p>◎第一百。地藏菩薩印 正僧正説同^ニ珍^ノ和^ノ上^ノ 第八 又云。諸 菩薩奉教者用^ニ普^ノ通^ノ掌^ノ 云 次結^ニ金 剛^ノ手^ノ院^ノ諸^ノ尊^ノ印^ノ也</p>	<p>月。二風屈入^レ月。二指各勿著^レ背 也。二空並直豎也。三誦^ニ頂^ノ散^ノ〕 (大正75 74頁上)</p>

	<p>金剛針外縛<small>ニシテテヨ</small>堅<small>ニ</small>風輪<small>ヲ</small></p>	<p>忙莽鷄合<small>ハ</small>掌<small>シテ</small>空地入<small>レ</small>掌<small>ニ</small>。余輪相並<small>ヘヨ</small>。或<small>ハ</small>云<small>ク</small>空<small>ヲ</small>押<small>シ</small>地<small>ヲ</small>甲<small>ヲ</small>合<small>セ</small>掌<small>シテ</small>火風相合<small>セテ</small>如<small>ニ</small>三<small>スト</small>股<small>ノ</small>杵<small>ノ</small>口伝云地空入<small>レ</small>掌<small>ニ</small>空著<small>ル</small>水<small>ニ</small>者也</p>	
	<p>◎第四百四十七。金剛針印 正僧正説同<small>ニ</small>海説<small>ニ</small>也<small>也</small> 但云外縛<small>ニ</small>第三 〔海大徳説。文云内拳申<small>ニ</small>風輪者。 内縛<small>ニ</small>風合直立。如<small>ニ</small>独股形<small>ニ</small>〕 (大正75 79頁下)</p>	<p>也 第二 (大正75 79頁下)</p> <p>◎第四百四十六。忙莽鷄金剛印 正僧正説。合掌地空入<small>レ</small>掌。余輪相並分立。如<small>ニ</small>三股<small>ニ</small>。又云。以<small>レ</small>空押<small>ニ</small>地甲<small>ニ</small>。作<small>ニ</small>三股形<small>ニ</small>。又云。地空入<small>レ</small>掌。空著<small>ル</small>水也</p>	<p>剛印 内縛 (大正75 79頁下)</p>

商
佉
羅^{ハ鎖}
福
智
反
鉤^{シシテ}
向^{ヘテ}
身^{ニシテ}
軛^{ヘテ}
舒^{レテ}
智
加^ヲ
定^{ハヨ}
上^{ノヘニ}

降
三
世
月
壓^ハ
内
縛^シ
五
股^ク
經^ニ并^ニ積^ニ二
風^ク如^ク鉤^{シテ}
少^ノ屈^{シテ}
不^レ相^レ著^ケ
口^ニ伝^ク云^テ以^テ定^ム
空^ヲ押^シ慧^ノ空^ヲ背^ケ相^ヲ又^ハ云^フ空^ヲ附^ク風^ニ並^ニ中^ニ不^レ相^レ著^ケ

金
剛
部
三
昧
耶^ノ契^{トイハ}三^ハ部
三
昧
耶^ノ中^ノ一^ノ契^也

◎第四百十八。商羯羅印 亦名金剛鎖
正僧正說同海說也 第四
〔文云四輪背相又旋轉慧加定者。与前三攝中金剛鎖同也。即以轉法輪印内戻返也〕
(大正75 79頁下)

◎第四百十九。忿怒降三世印
正僧正說。内縛五股 注云。經並積二風如鉤。捻二空少屈。口伝云。以定空押慧空背相。又云。以空著風。並舒不相著也。合四樣也 第五
(大正75 80頁上)

◎第五百十一。切持金剛印

<p>一切奉教福智為_レ拳舒_ニ豎_テ二風屈合_ニ上_セ節_ヲ二空並豎_ヘ也。凡金剛有_ニ六印_一 一者_ニ内縛拳豎_ニ火名_ニ楛_ト 二者_ニ準_ニ上_ニ印_ニ交_ニ豎_ニ火_ニ為_ニ弓箭_ノ印_一 左火弓形印_ニ為_ニ二印_一 四者_ニ以_ニ部母印_ニ開_ニ立_ニ風_ニ如_ニ戟_ノ形_一 五者_ニ内縛舒_ニ合_ニ風_ニ円屈_ニ名_ニ索_ノ印_ニ以_ニ右空_ニ押_ニ左空_ノ 第六_ニ以_ニ上_ニ印_ニ即_ニ為_ニ輪_ノ</p>	<p>金剛拳_ハ内縛舒_ニ上_ニ二羽於左耳_ノ上面_ニ少向_レ右_ニ為_ニ打物_ノ之勢_ヲ 獄契_ト也</p>	
<p>◎第百五十二。一切奉教金剛菩薩印 正僧正説。内縛申_ニ二風_ニ屈合_ニ上_ニ節_ニ。二空並立 (大正75 80頁中)</p>	<p>◎第百五十一。金剛拳印 正僧正説。内縛舒_ニ上_ニ二羽於左耳上面_ニ少傾_レ右_ニ如_ニ打物_ノ状_一 第七 (大正75 80頁中)</p>	<p>正僧正説同_ニ海説_ニ也 第六 〔海大徳説。前持地印当_レ心也。諸金剛者金剛部。一切金剛。金剛部諸尊皆通用_ニ此印_ニ也〕 (大正75 80頁上_ノ中)</p>

<p>印^ト也。諸金剛及奉教無^ニ印^ハ隨^テ用^ヒ此^ノ中^ノ一^ノ印^ヲ</p>	<p>次^ニ涅里底^ノ方^ノ般若菩薩梵夾^ノ印^ヲ中</p>	<p>降三世^ハ五股^ノ印^ヲ左</p>	<p>不動尊^左 若持^シ印^ヲ欲^セ布^ス字^セ爲^シ之^ヲ十九^ニ轉^シ成^ス身^ト也</p>	<p>六足尊^ハ內縛^ニ火峯^ヲ 右</p>
<p>◎ 第一百十六。般若菩薩印 正僧正說。用^ニ梵篋^ノ印^ヲ</p> <p>(大正75 81頁上)</p>	<p>◎ 第一百十七。不動尊印 正僧正說。般若之後。次降三世五股印也 第二 次不動尊。若持^レ印^ヲ欲^レ布字作^レ之。十九轉成^レ身</p> <p>(大正75 81頁中)</p>	<p>◎ 第一百五十九。大威德金剛印 正僧正說同慧和上說 第四</p> <p>次結四方四大護印 如^レ前 次結^ニ積</p>	<p>◎ 第一百十六。般若菩薩印 正僧正說。用^ニ梵篋^ノ印^ヲ</p> <p>(大正75 81頁上)</p>	<p>◎ 第一百十七。不動尊印 正僧正說。般若之後。次降三世五股印也 第二 次不動尊。若持^レ印^ヲ欲^レ布字作^レ之。十九轉成^レ身</p> <p>(大正75 81頁中)</p>

<p>次^ニ因陀羅方^ル。積迦牟尼^ヲ定慧各舒^テ五輪^ヲ。空火相^ヲ捻^シ。左^ハ仰^ケ心^ノ前^ヘ。右^ヲ覆^テ。左^ノ上^ニ勿^レ相^ヲ著^ス。是^レ為^ル應身^ノ說法^ニ。相^ノ立^テ。定慧^ノ火爪^ヲ甲^ヲ合^セ以^テ空^ヲ押^シ。火側^ニ。是^レ為^ル法^ノ相^ト也[。]</p>	<p>四方大護^云</p>	<p>勝三世五股^ノ印^右</p>	
<p>◎第百六十。積迦牟尼^ノ仏印^ニ。正僧正^ノ說^ト同^シ海^ノ。吉祥印^ニ。是^レ應身^ノ說法^ニ。相^ト也[。]。上印^ノ相^ト合^セ為^ル報身^ノ說法^ニ。相^ト也[。]。上印^ノ相^ト反^シ。定慧^ノ火^ヲ申^テ立^テ。而^シ合^セ之[。]</p>	<p>(第百五十九にあり。)</p>	<p>◎第百五十八。勝三世印^ニ。正僧正^ノ說^ト同^シ海^ノ說^ニ也[。] 第五 〔海大徳説。五股金剛印〕 (大正75 81頁中)</p>	<p>迦諸尊印^ニ 〔慧和上説。比処^ニ只^シ用^フ根本印^ニ〕 (大正75 81頁中)</p>

<p>能寂母同_シ仏頂_ニ福智合_{シテ}屈_シ風_ニ合_レ爪相_ヲ合_{シテ}以_テ空_ヲ押_ス風_ノ側_ヲ</p>	<p>以_レ空押_ニ火側_ニ為_ニ法身說法相_ニ也 <small>一 第</small> 〔海大徳説。用_ニ前印_ニ左手執_ニ袈裟角_ニ。右手安_ニ左手上_ニ不相_ニ叉_ニ。仰安_ニ心前_ニ。舒印如_レ前_ニ〕 <small>云</small> <small>云</small> <small>（大正75 81頁下）</small></p>
<p>◎第百六十一。遍知眼印 正僧正説。是金輪仏頂印。又云。合掌屈_レ風申_レ合。以_ニ空_ニ捻_ニ風側_ニ。出_ニ青龍寺三卷別本_ニ 第二 <small>（大正75 82頁上）</small></p>	<p>毫相_ハ豎_テ智_ノ拳_ヲ風_ノ節_ヲ置_ケ眉_ノ間_ノ上_ニ</p>
<p>毫相_ハ豎_テ智_ノ拳_ヲ風_ノ節_ヲ置_ケ眉_ノ間_ノ上_ニ</p>	<p>◎第百六十二。毫相明印 正僧正説同_ニ海説_ニ也 <small>但云。拳而向_レ左少向_レ外。第三</small> 〔海大徳説。文云_ニ慧拳置_ニ眉間_ニ〕</p>

<p>白傘蓋^{ハテテ} 豎^{ハテテ} 慧^{ハテテ} 風^{フウ} 定^{テイ} 掌^テ 覆^{フク} 如^ニ 蓋^{ハテテ}</p>	<p>一切^{イツ} 仏^{ブツ} 頂^{テイ} 慧^ヱ 手^テ 聚^ク 五^ゴ 峯^{ホウ} 安^ア 頂^{テイ} 上^{ジョウ} 也^ニ</p>	
<p>◎ 第六十四。白傘蓋^{ハテテ} 仏頂印^{ブツテイイン} 正僧正說^{テイソウテイ} 同^{ドウ} 海說^{カイ} 也^ニ 第五^ゴ 〔海大徳説 (中略) 慧手作^{ヱテ} 拳^{ケン} 申^{マウ} 風柱^{フウヂウ} 定^{テイ} 掌中^{テノナカ} 也^ニ。定^{テイ} 五輪^{ゴリン} 下垂^{シタリ}</p>	<p>◎ 第六十三。一切^{イツ} 仏頂印^{ブツテイイン} 正僧正說^{テイソウテイ} 同^{ドウ} 海說^{カイ} 也^ニ 第四^{ヨウ} 〔海大徳説。慧手^{ヱテ} 五輪^{ゴリン} 末^{マタ} 聚合^{クワツ}。以^テ 合^{アヒ} 安^ア 頂^{テイ} 也^ニ。定^{テイ} 拳^{ケン} 安^ア 腰^{ヨウ}〕 (大正75 82頁上)</p>	<p>風指^{フウサシ} 者^ノ。言^フ 風指^{フウサシ} 者^ノ。慧手作^{ヱテ} 金剛^{キウカウ} 拳^{ケン}。風節^{フウセツ} 稍^{シヤウ} 出^デ 指^{サシ} 眉間^{メイカン} 也^ニ。与^テ 前毫^{ゼンコウ} 相印^{サウイン} 同^{ドウ}。定^{テイ} 拳^{ケン} 按^ア 腰^{ヨウ}〕 (大正75 82頁上)</p>

	<p>最勝仏頂<small>ハヒヨ</small>用<small>ヒヨ</small>轉法輪印<small>ヲ</small>也</p>	<p>勝仏頂<small>ハ</small>大慧刀是<small>レ</small>也</p>	
	<p>◎第六十六。最勝仏頂印 正僧正說亦同 第七 〔海大德說。身色淺黃。用轉法輪印〕 (大正75 82頁中)</p>	<p>◎第六十五。勝仏頂印 正僧正說同海說也 第六 〔海大德說。身色金色印。三補吒大慧刀印。虛心合掌。風空如大慧刀印〕 (大正75 82頁中)</p>	<p>也。慧風為竿。定手為蓋也〕 (大正75 82頁上)</p>

<p>除障 仏頂<small>ハ</small> 智<small>ノ</small> 拳<small>テ</small> 抽<small>テ</small> 風<small>ヲ</small> 屈<small>シ</small> 如<small>セ</small> 鉤<small>ヨ</small></p>	<p>光聚 仏頂<small>ハ</small> 地<small>ハ</small> 水<small>ハ</small> 入<small>テ</small> 掌<small>ニ</small> 勿<small>ル</small> 交<small>コト</small> 舒<small>ヘ</small> 二<small>ニ</small> 火<small>ヲ</small> 合<small>シ</small> 豎<small>テ</small> 二<small>ニ</small> 風<small>ヲ</small> 著<small>ケ</small> 火<small>ノ</small> 背<small>ノ</small> 空<small>ニ</small> 並<small>ヘ</small> 豎<small>テ</small> 也<small>ヨ</small></p>
<p>◎第六十八。除障仏頂印 正僧正説。同<small>一</small>第一印<small>無</small>第二<small>二</small> <small>印</small>第九 (海大徳説。(中略) 有<small>二</small>印様。 一云。慧羽作拳屈風作鉤。是名 半印。定拳按腰。二云。内縛申<small>二</small>慧 風<small>一</small>作鉤。故文云<small>二</small>内縛<small>一</small>也 (大正75 82頁中)</p>	<p>◎第六十七。光聚仏頂印 正僧正説同<small>二</small>海説<small>一</small>也 但云。以<small>二</small>地水<small>一</small>不 <small>レ</small>又背之為<small>レ</small>異。第 八 (海大徳説。身色浅白。内縛二火 合立也。二風少屈著<small>二</small>火側上<small>一</small>。二 空並直立也) (大正75 82頁中)</p>

發生^ハ仏頂^ハ蓮花^ハ印^レ是也

広生^ハ仏頂^ハ外^ハ縛^ハ五股也

無量^ハ声^ハ仏頂^ハ同^シ商^ハ法^ハ印^ニ也

◎第六十九。広大^ハ發生^ハ仏頂^ハ印

正僧^ハ正^ハ說^ハ同^シ慧^ハ和^ハ上^ハ說^ハ 第九

〔慧和上說。広生^ハ仏頂^ハ用^シ蓮華^ハ開

敷^レ〕

(大正75 82頁下)

◎第七十。極^ハ広^ハ生^ハ仏頂^ハ印

正僧^ハ正^ハ說^ハ同^シ慧^ハ和^ハ上^ハ說^ハ 第十一

〔慧和上說。發生^ハ仏頂^ハ内^ハ縛^ハ五股

印^レ也〕

(大正75 82頁下)

◎第七十一。無量^ハ音^ハ声^ハ仏頂^ハ印

正僧^ハ正^ハ亦^ハ同^シ 第十

〔別記云。同^シ前^ハ商^ハ法^ハ印^ハ以^シ三^ハ風^ハ絞^レ〕

	<p>縁覚^ハ内拳^{ニシテテテ}豎^ニ火輪^ヲ如^レ環^ノ也</p>	<p>声聞^{ハヒヨ}用^ニ梵夾^ヲ也</p>	
	<p>◎第一百七十三。縁覚衆印 <small>正僧正説同 第十 四</small> 〔別記云。内縛申^ニ火^ニ頭相柱円 団。如^ニ錫杖頭。是一切縁覚通印 也〕 (大正75 83頁上)</p>	<p>◎第一百七十二。声聞衆印 <small>正僧正説亦同 第十 三</small> 〔別記云皆用^ニ梵夾印。以^レ印安^ニ身 左。是一切声聞通印也〕 (大正75 82頁下)</p>	<p>空也) (大正75 82頁下)</p>

無能勝^ハ智^テ執^テ蓮^ヲ在^キ心^ノ前^ニ舒^ヘ定^ヲ向^テ外^ニ距^レ之^カ也^{セヨ}

無能勝^ハ妃^ハ福智^ニ内^ニ拳^{シテ}屈^レ空^ヲ如^{セヨ}口^ノ相^ノ也

◎第七十四。無能勝印

正僧正說同海說也但云定掌向外不云拳首第十

五

〔海大德說。(中略)慧手作執

蓮華印^一当^ニ右^ニ嬾^上向^レ外^也空火相捻

令^ニ火^ニ背^直定^ニ手^申掌^高拳^於首^向外^也

也。師說云。執蓮華印者。空火相

捻。余輪散舒。如^下執^ニ蓮^華形^以此

印^一安^ニ心^上儀軌^不同^也

(大正75 83頁上)

◎第七十五。無能勝妃印

正僧正說同海說也第十次結文

殊院諸尊印

<p>光網定為拳屈風如鉤慧拳安腰也</p>	<p>次因陀羅方文殊智定合火加水。上風空如縛字。地入水下。蹙合似青蓮。空相捻是也。</p>	
<p>◎ 第三百。光網菩薩印 正僧正說同海說也 但不云召 第二 〔海大徳説。慧拳安腰。定拳屈風。 每誦娑縛訶召之三度〕 (大正 75 75頁上)</p>	<p>◎ 第二百。文殊師利菩薩印 正僧正印相二手背相合也 (大正 75 75頁上)</p>	<p>〔海大徳説。内縛屈二空上節並立也。空与風相離。如大張口。是名勝大口。謂内縛二空並立。少屈如鉤。与風少開去也。其間是口〕 (大正 75 83頁上)</p>

無垢光菩薩同^{ハシ}上^ニ五輪並^{ヘテ}少屈^{キセヨ}云

計設^ハ尼^ノ慧^ノ拳^ヲ豎^テ火^ヲ風^ヲ刀^ヲ印^也

◎ 第一百四。無垢光菩薩印

正僧正說同^ニ海本說^一第三^{但^レ不^レ云^レ召}

〔海大徳説。慧手同^レ前。定五輪直豎。少屈向外。每誦^ニ真言^一三遍動召。此印与^レ經不^レ同。文云^ニ左蓮無垢光青蓮而未敷^一者尊手執^レ物。非^ニ手印^一也。次文云^ニ前印舒微屈^一者。正是無垢光菩薩印也〕

(大正75 75頁上)

◎ 第一百五。計設爾印

正僧正説。慧拳舒^ニ風火^一。是刀印也。仏菩薩半手印時。其半手拳仰安^ニ股上^一。若天等按^レ腰^{第四}私云。玄法

	<p>烏波計始爾戟。如上直申火輪也。</p>	<p>地慧菩薩定拳申地水如意幢也。</p>	<p>質怛羅童子慧拳直豎風杖也。</p>
<p>寺爛脱両卷儀軌云。計設爾持刀慧拳地水豎</p> <p>(大正75 75頁中)</p>	<p>◎第百六。烏波計設爾印</p> <p>正僧正説。慧拳立火</p> <p>第五</p> <p>(大正75 75頁中)</p>	<p>◎第百七。地慧菩薩印</p> <p>正僧正説。定拳舒地水</p> <p>第六</p> <p>(大正75 75頁中)</p>	<p>◎第百八。質多羅童子菩薩印</p> <p>正僧正説同海説也</p> <p>第七</p> <p>(海大徳説。文云。右拳風輪杖者。)</p>

	<p>財<small>ハ</small>慧<small>ハ</small>金剛掌<small>ナリ儀軌ノ中ニハ</small> 財慧同也</p>	<p>召請童子<small>ハ</small>慧<small>ハ</small>拳風如<small>セヨ</small>鉤<small>ノ</small>也</p>	<p>不思議童子定慧内縛<small>ニシテ</small>二風相合<small>シテ</small>屈<small>シテ</small>第三節<small>ノ</small>二空並<small>ヘテ</small>豎<small>テヨ</small>也</p>
<p>直立風輪勿動。三誦。左拳按腰 (大正75 75頁中下)</p>	<p>◎第百九。召請童子印 正僧正說同海說也 但不云召 第八</p>	<p>〔海大德說。亦名鉤召童子。文云。 召請風為鉤。右金剛拳舒風作 鉤。三遍召之。左手同前〕 (大正75 75頁下)</p>	<p>◎第百十。五種奉教者初不思議 童子印 正僧正說。内縛空風並立屈第三</p>

<p>施無畏^ハ 豎^テ毘鉢舍那^ノ 臂^ヲ作^レ施無畏^ニ 右也</p>	<p>除疑怪^ハ 定慧^ニ 内拳^{ニシテ} 舒^レ火^ヲ 円^{カニ} 屈^{セヨ} 三^ノ 節^ヲ 口^ヲ 伝^フ 也</p>	<p>次^ニ 閻羅^ノ 方^ノ 除蓋障^ハ 定慧^{ニシテ} 合^{シテ} 地^ニ 水^ヲ 空^ヲ 入^レ 掌^ニ 風^ニ 火^ヲ 作^レ 宝^ニ 形^ニ 是^レ 口^ヲ 伝^フ 也^捨 蓋^ニ 障^ヲ 并^ニ 有^ル 使^者 位^也 也</p>	
<p>正僧正說同海說也 第三</p> <p>◎ 第一百十三。施無畏菩薩印</p>	<p>◎ 第一百十二。除疑怪菩薩印</p> <p>正僧正說。定慧内拳舒^レ火。円屈^ニ 第三節。口伝也 第二</p> <p>(大正75 76頁上)</p>	<p>障菩薩有^ニ 使^者 位^也 第一</p> <p>(大正75 76頁上)</p> <p>風火如^ニ 宝^ニ 形。文云捨^ニ 分^ニ 者謂蓋</p> <p>正僧正說。虚心合掌。地水空屈^レ 掌。</p> <p>◎ 第一百十一。除一切蓋障菩薩印</p>	<p>節^ニ 第九 次結除蓋障院諸尊印^一</p> <p>(大正75 75頁下)</p>

除惡趣同無畏。豎慧臂申五輪掌向上。左安腰是也。

救護慧以前印掩心空稍向上豎之也。

〔海大德說。定拳安腰慧手直立。与肩齊之向外〕
(大正75 76頁上)

◎ 第一百十四。除一切惡趣菩薩印
正僧正說同海說也 第四

〔海大德說。定慧同前。唯以慧手舒臂高拳。仰向上為異。此印与經大同。不同儀軌〕
(大正75 76頁中)

◎ 第一百十五。救護慧菩薩印
正僧正說同海說也 第五

〔海大德說。文云。悲手当在心。豎空指向上者。舒慧五輪直而橫〕

<p>除熱惱仰下作施願形也</p>	<p>悲旋潤慧手屈火柱心定放豎是也</p>	<p>大慈生智如持華狀<small>空風相捻三指 向上一豎之</small></p>	
<p>正僧正說慧手作與願形<small>第八 (大正75 76頁下)</small></p>	<p>也 正僧正說。慧手屈柱心放空豎是也 <small>(大正75 76頁下)</small></p>	<p>上豎之<small>第六 (大正75 76頁中)</small></p> <p>正僧正說。慧手風空相捻。三輪向上豎之<small>第六</small></p> <p>◎第一百十六。大慈生菩薩印</p>	<p>覆心上。以掌向身立空向上。定手同前 <small>(大正75 76頁中)</small></p>

不思議慧先作無畏印以空風相持。余申火小鉤即当心也

次勝方地藏定智内拳二火開直是也

宝処慧拳空風相捻シテ空出レ外押ニ舒散三輪当心也
風側也

◎第一百十九。不思議慧菩薩印
正僧正說。慧手先作施無畏印。次
空風相捻。余輪少屈当心第九
次結地藏院諸尊印
(大正75 76頁下)

◎第一百二十。北方地藏菩薩印
正僧正說同海本說也
〔海大德說。以下第十會也是第
二重〕
北方中文云秘密内縛舒散於火
輪者。開散二火直立。不相著之。
是名旗印。此印如旗故
(大正75 77頁上)

◎第一百二十一。宝処菩薩印

<p>持地^ハ慧^シ定^シ背^ケ相^シ合^テ定^シ地^ヲ平^ニ加^テ持^セ同^シ金^ノ剛^ノ部^ノ三^ノ昧^ノ耶^ニ 当^レ膝^ニ三^ノ上^ノ下^ノ</p>	<p>宝手^ハ同^シ上^ニ拳^ヲ以^テ空^ヲ押^シ諸^ノ輪^ヲ舒^ヘ水^ヲ豎^ツ之^ヲ也^ヲ 亦^ハ名^ニ宝^ト掌^ト</p>	
<p>◎ 第二百二十三。持地菩薩印 正僧正説。同金剛部三昧耶印。当 膝三上下 第四 (大正75 77頁中)</p>	<p>◎ 第二百二十二。宝手菩薩印 正僧正説同海説也 第三 〔海大徳説。亦名宝掌菩薩。文云 慧拳舒水輪者定手同前慧手 以空押地火風甲上。直立水輪 向外。是名独股金剛印〕 (大正75 77頁上)</p>	<p>側 正僧正説。慧拳空風相捻 以空出 外押風 余輪散舒当心 第二 (大正75 77頁上)</p>

宝印手五股戟ナリ外縛ニ風
当テヨ火背ニ

堅固意金剛戟ナリ蓮花合掌ニシテ空勿著ルコト風也口伝

次ニ龍方虚空藏福智合シテ以テ二空ヲ入レ月柱ニ水中ノ文ヲ風屈シテ頭柱ヲ空節ノ上ニ
此尊ノ北有ニ十波羅蜜及金
剛等ノ十九菩薩也云

◎ 第二百二十四。宝印手菩薩印
正僧正説同海説也 第五

〔海大徳説。文云五股金剛印者
用外縛五股印也〕
(大正75 77頁中)

◎ 第二百二十五。堅固意菩薩印
正僧正説。蓮華合掌。空勿著風
第六
次結虚空藏院諸尊印
(大正75 77頁下)

◎ 第二百二十六。西方虚空藏菩薩
印
正僧正説。合掌二空入月。著水中
文。屈二風著二空二甲上 第一 此

<p>蓮花印普通掌 口伝用上 蓮花印</p>	<p>虚空慧^ハ転^レ法^ハ輪^ハ 也^レ如^シ上^ノ</p>	<p>虚空無垢^ハ金剛掌^{ニシテ}風^ニ加^レ空^ニ定^ニ慧^{カニ}平^ハ合^{セヨ}。是^レ刀^レ印^也</p>	
<p>◎ 第二百二十九。蓮華手菩薩印</p>	<p>◎ 第二百二十八。虚空慧菩薩印 正僧正説。亦同 第三 〔海大徳説。(中略) 転法輪印 是也〕 (大正75 78頁上)</p>	<p>◎ 第二百二十七。虚空無垢菩薩印 正僧正説。金剛合掌。各風加^レ空^ニ定^ニ 慧平合。是刀印 第二 (大正75 78頁上)</p>	<p>尊北有二十波羅蜜及金剛藏等十 九尊菩薩^ニ云^ク (大正75 77頁下)</p>

	<p>行^ハ慧^ハ二羽^{シテ}合^{シテ}六^{シテ}輪^{シテ}仰^テ如^シ花^ノ <small>六輪開敷當額也 謂蓮華印空地相捻</small></p>	<p>清淨慧商^ハ佉^ノ印^ノ <small>但當胸立 勿吹之也</small></p>	
	<p>◎第三百一十一。行慧菩薩印 正僧正亦同 <small>第六</small> 〔海大德說。文云行慧敷蓮華者。 合掌二地二空各合立也。余輪 少屈同蓮華座印〕 <small>三輪端 不著</small> <small>(大正75 78頁上)中</small></p>	<p>第三百十。清淨慧菩薩印 正僧正說。商佉印。但當胸堅勿吹 第五 <small>(大正75 78頁上)</small></p>	<p>正僧正說。用歸命合掌。又說。用蓮 華印 <small>第四</small> <small>(大正75 78頁上)</small></p>

	<p>執杵^ハ五股^ニ 内縛^ニ口^ニ 伝也</p>	<p>出現智^ハ 剛拳^ニ 用^ニ金^ニ</p>	<p>安住慧^ハ同^ニ文殊^ニ青蓮^ニ花^ニ 少^ク開^キ二空^ニ著^ヨ風^ノ側^ニ也</p>
	<p>◎第三百三十四。執蓮華杵菩薩印 正僧正説。用^ニ内縛^ニ五股^ニ印^ニ 第二 次 結自在天院諸天印^ニ (大正75 79頁上)</p>	<p>普印^ニ也) (大正75 78頁下)</p> <p>〔海大徳説。以下第十二会也。用^ニ正僧正説。同^ニ海説^ニ也 第一 第三百三十三。出現智菩薩印 正僧正説。同^ニ海説^ニ也 第一</p>	<p>◎第三百三十二。安住慧菩薩印 正僧正説。同^ニ文殊^ニ青蓮^ニ華^ニ印^ニ。又説。 内縛^ニ二風^ニ少^ク開^キ。二空^ニ著^ヨ風^ノ側^ニ 第七 (大正75 78頁中)</p>

復次勝方東北自在天子慧手承己類也

普花火風差_{サシ}戾_{チカフル}異_{トス}也

◎第七十六。自在天印
正僧正。慧手承己類_{第一}

(大正75 83頁下)

◎第七十七。普華天子印

正僧正說。同海說也。但以風火差戾為異。第二

〔海大德說。定拳按腰。慧手直立。

以風押火背。以空著心。以

掌向內。內者左方也。文云普華

風火差_{火入胸前側}者。風火差者。以

風橫又火背上也。火入胸前側

者。左為內。右為外。掌向左為入

也。風止火止差。安左以与。或云。左以

与。火之胸乃前爾入天側。曾皮仁

(大正75 83頁下、84頁上)

<p>遍音声智加水上舒掩耳門也</p>	<p>滿意空風如持花也</p>	<p>光鬘同前。改空橫於掌也</p>
<p>◎第一百八十。遍音天子印 正僧正説。空加水上掩耳門 (大正75 84頁上) 第五</p>	<p>◎第一百七十九。滿意天子印 正僧正説同海説也 第四 海大徳説。(中略) 前印慧手空 風作執華印向外<small>空風相捻</small>是持華印 (大正75 84頁上)</p>	<p>◎第一百七十八。光鬘天子印 正僧正説同海説 第三 〔海大徳説。文云光鬘空在掌者 慧五輪直舒立向外也以空橫 安掌也。定拳按腰〕 (大正75 84頁上)</p>

次_ニ東_ノ南_ノ火_ノ天_ハ智_ヲ無_ニ畏_{シテ}空_ヲ横_ヘ掌_ニ中_ニ以_テ風_ヲ請_ヲ召_{セヨ}也

◎ 第一百八十一。火仙印

正僧正説同海説也 第六

〔海大徳説。次東南方火仙。文云二
火天空在_レ掌者。慧掌向_レ外直立。
以_レ空安_レ掌。屈_レ風隨_レ誦召_レ之。是火
天印。与_レ疏不_レ同。文云_下心置_ニ三角
印_ニ慧珠定操形掌印定持_{上レ}杖者。
心置_ニ三角印_ニ者。仰_レ左手安_ニ胸上_ニ。
火空相柱也。慧珠者。慧手持_ニ念
珠_ニ也。定操形者。定手持_レ瓶。是名_ニ
操形。形者水瓶也。掌印者。慧手
作_レ施無畏_ニ也。定持杖者。定手持_ニ
仙杖_ニ也。三点灰為_レ標者。諸外道
等以_レ灰塗_レ身。故以_レ灰為_レ標也。又

<p>阿 跌 里^ハ 以^テ 空^ヲ 柱^ハ 風^ノ 中^ノ 文^ヲ 也</p>	<p>縛 斯^ハ 以^テ 空^ヲ 柱^ハ 水^ノ 中^ノ 文^ヲ 也</p>	<p>后^ハ 以^テ 空^ヲ 柱^ハ 地^ノ 第^一 文^ヲ 用^フ 慧^ノ 手^ヲ 下^ニ 同^シ 之^ニ</p>	
<p>◎ 第百八十四。訶跌哩仙印</p>	<p>◎ 第百八十三縛思仙印 正僧正説。慧空著水中文^一 第八 (大正75 84頁下)</p>	<p>◎ 第百八十二。火天后印 正僧正説。慧空著地第一節^一也 第七 (大正75 84頁中)</p>	<p>列名中言^一間錯^一者人名也。奉教者大仙府君也。五岳中之一也。亦名^一判官。在^一東岳^一也。天竺無也。但於^一此間^一以^レ義翻而安^レ之^一 (大正75 84頁中)</p>

<p>次南中閻羅檀拏印 <small>人頭如常合 掌地風入月</small></p>	<p>增長天王印 <small>如儀軌 云</small></p>	<p>藥栗伽同縛斯 <small>又豎舒智掌誦上五天真 言是惣印也。一一勿作</small></p>	<p>驕答摩柱火中文也</p>	
<p>◎ 第一百八十八。焰魔王印</p>	<p>◎ 第一百八十七。增長天王印 正僧正說。如儀軌 <small>私云。在青龍 本。第十三 (大正75 85頁中)</small></p>	<p>◎ 第一百八十六。藥栗伽仙印 正僧正說。同縛斯印。又云。直立慧 掌誦上五仙明。是總印 <small>第十一 (大正75 85頁上)</small></p>	<p>◎ 第一百八十五。喬答摩仙印 正僧正說慧空著火中文 <small>第十 (大正75 85頁上)</small></p>	<p>正僧正說。慧空著風中文 <small>第九 (大正75 84頁下)</small></p>

<p>暗 夜 神 軌<small>ハ如儀</small> 中<small>ノ</small></p>	<p>焰 魔 七<small>ハ</small>母 三 昧 拳 抽<small>テテ</small> 空<small>ヲ</small> 豎<small>テヨ</small> 鎚<small>ノ</small> 印<small>ナリ</small> 当<small>テヨ</small> 心<small>ノ</small> 前<small>ニ</small> 也</p>	<p>死 王 印 云 本</p>	
<p>◎ 第一百九十一。暗夜神印 正僧正説如儀軌<small>云云</small> 第十七 (大正75 85頁下)</p>	<p>◎ 第一百九十。七母印 正僧正説。同海説<small>但云当心。</small> 第十六 〔海大徳説。有七姉妹定拳按腰。 慧拳空直立。先安頂上。次去於 頂作打物之勢。是七母鎚印〕 (大正75 85頁下)</p>	<p>◎ 第一百八十九。死王印 正僧正説。死<small>云云</small> 第十五 (大正75 85頁中)</p>	<p>正僧正説。檀拏印。合掌地風入月 (大正75 85頁中)</p>

<p>金翅鳥<small>云</small></p>	<p>拏吉尼<small>ハヘテ</small>舒<small>ノ</small>定<small>ヲ</small>五輪<small>ヲ</small>当<small>レ</small>口<small>ニ</small>。以<small>テ</small>爾<small>ヲ</small>賀<small>ハ</small>縛<small>ハ</small>柱<small>ハ</small>掌<small>中</small>五輪<small>ニ</small>少曲<small>シメヨ</small>云</p>	<p>奉教官<small>ハ用フ</small>用<small>ニ</small>本<small>ヲ</small>主<small>ノ</small>印<small>ヲ</small>也<small>ハ</small></p>	<p>焰魔后<small>ハ印亦如</small>儀軌<small>中</small></p>
<p>◎ 第一百九十七。金翅鳥印</p>	<p>◎ 第一百九十四。荼吉尼印 正僧正説。申<small>ニ</small>定<small>レ</small>五輪<small>ノ</small>当<small>レ</small>口<small>ニ</small>。以<small>テ</small>識羅訶<small>ヲ</small>著<small>シ</small>掌<small>中</small> 第二十 (大正75 86頁上)</p>	<p>〔海大徳説。用<small>ニ</small>金剛合掌〕 (大正75 86頁上)</p>	<p>◎ 第一百九十二。焰魔妃后鐸印 正僧正説如<small>レ</small>軌<small>云</small>云 第十八 (大正75 86頁上)</p>

<p>羅刹衆 將兄 通掌。又用主印。</p> <p>兄在衆上。此二用。</p>	<p>羅刹斯虚心合掌。水入掌。風立。空火交也。</p>	<p>次西南羅刹主印。如儀軌也。</p>	
<p>第二百四。羅刹衆印</p>	<p>羅刹女并羅刹衆印也。</p> <p>(大正75 86頁下)</p>	<p>◎百九十。羅刹斯印</p> <p>正僧正說同海說也。第二十三</p> <p>(海大德說 (中略) 蓮華合掌 二水屈背入月。二地二風端相 柱。二空二火各端相又。此印即</p>	<p>正僧正說。金翅鳥印</p> <p>云云 第二十一 (大正75 86頁中)</p>
	<p>◎第一百九十八。羅刹主印</p> <p>正僧正說。羅刹主印如軌</p> <p>云云。第 二十二 (大正75 86頁下)</p>		

<p>難陀兄弟二龍左右掌更互加著<small>掌著定輪頭謂以右腕覆著左指頭</small></p>	<p>水天舒散十輪覆之二空紋。是一切龍印也。 <small>即引此龍印胸前如飛勢。是鳥印也。</small></p>	<p>次龍方中<small>大護等云云</small>廣目天王<small>軌也</small></p>	<p>正僧正說。用普通掌。又云。用主印第二十四 <small>(大正75 87頁上)</small></p>
<p>◎第二百五。諸龍印</p>	<p>◎第二百二。水天印 正僧正說。散舒十輪覆之二空。相紋。是一切龍印。又引此龍印安胸前。如飛勢。是鳥印 <small>第二十六。七 (大正75 87頁中)</small></p>	<p>第二百一。廣目天王印 正僧正說。龍方門中廂曲之中忿怒大護等 <small>云 廣目天王印如軌。第二十五 (大正75 87頁中)</small></p>	<p>◎第二百五。諸龍印</p>

也。即用_二兄_一言_ヲ。又如_レ上_ノ舒_ハ定_ハ慧_ノ輪_ヲ定_ハ上_ノ。慧_ハ下_レ右_ノ指_ヲ頭_ヲ加_ハ左_ノ腕_ヲ用_ニ弟_一真_ニ言_ニ也。

諸_ハ龍_ハ羅_{ナリ}索_{ナリ}内_ニ拳_ニ抽_ニ一_ニ風_ヲ頭_{ハシ}円_ニ合_ニセヨ

地_ハ神_ハ福_ハ智_ハ八_ハ度_ハ頭_ハ円_ニ合_ニセヨ。一_ニ空_ヲ附_{ケテ}如_レ蓋_{セヨ}。如_{クシテ}飲_ニ食_ノ印_ヲ風_ノ著_{ケテ}火_ニ則_チ想_ハ華_ト瓶_ト梵_ト云_ニ迦_ニ羅_ト奢_ト。

正僧正説。是兄弟二龍也。先仰定五輪。横安胸前。伏慧掌而著定輪端。以右腕伏著左指。用兄真言。是難陀印。第二十八次。如_レ上_ニ定_ニ上_ニ慧_ニ下_ニ。右指端加_ニ左_ニ腕_ニ用_ニ弟_一真_ニ言_ニ。是跋難陀印。第二十九

内縛二風。相柱令_レ円。是諸龍印第三十

(大正75 87頁下)

◎第二百六。地神印
正僧正説。八輪頭円合。一空形如_レ蓋。注云。如_レ飲_ニ食_ノ印_ヲ風_ノ著_{ケテ}火_ニ側_ニ想_ニ華_ト。

<p>后<small>ハ</small>風<small>ヲ</small>加<small>ル</small>空<small>ヲ</small>背<small>ス</small>第一<small>ノ</small>節<small>ニ</small>以<small>テ</small>為<small>シ</small>異<small>ト</small>耳</p>	<p>毘紐<small>ハ</small>那羅延<small>ナリ</small>三昧<small>ノ</small>空<small>ヲ</small>捻<small>シ</small>風<small>ヲ</small>円<small>ヲ</small>孔<small>ニ</small>如<small>シ</small>輪<small>ノ</small>勢<small>ノ</small>散<small>ス</small>五輪<small>ノ</small>也<small>也</small> <small>口伝</small>覆<small>セ</small>左<small>ヲ</small></p>	<p>辯才<small>ハ</small>妙音<small>ノ</small>費<small>ノ</small>拏<small>ノ</small>印<small>ナリ</small>慧風<small>ノ</small>持<small>シ</small>空<small>ヲ</small>向<small>フ</small>身<small>ニ</small>来<small>ニ</small>去<small>シ</small>運動<small>シ</small>如<small>シ</small>奏<small>ス</small>樂<small>ヲ</small>舒<small>ヘ</small>定<small>ノ</small>五輪<small>ヲ</small>横<small>ヘ</small>レ 前<small>ニ</small>安<small>セ</small>心<small>ヲ</small>想<small>ヘ</small>如<small>シ</small>彈<small>ク</small>琵琶<small>ノ</small></p>	<p>瓶<small>ニ</small>第三<small>ノ</small>十一</p>
<p>◎ 第二百九。那羅延后印</p>	<p>◎ 第二百八。那羅延天印 正僧正説。定手空風相捻。円孔輪勢。又云。伏ニ左掌ニ舒ニ五輪ニ而転レ之 第三 十三 (大正77 88頁上〜中)</p>	<p>◎ 第二百七。辨才天印 正僧正説。辨才妙音費拏印。慧手空風相捻。向レ身運動如レ奏レ樂。仰ニ定掌ニ安心前ニ想如レ彈琴 第三 十二 (大正75 88頁上)</p>	<p>(大正75 88頁上)</p>

<p>遮文茶^ハ仰^{ケテ}定^ノ掌^ヲ持^リ劫波羅^ヲ <small>謂^ク口^ハ伝^ハ当^レ心^ニ真言^ニ曰^ク初^ハ如^ク常^ノ儀^中載^ス於^テ末^也</small></p>	<p>正僧正説。定風加^ニ空^ノ第一^ノ節^ニ第三^ノ十四^ノ節^ニ <small>(大正75 88頁中)</small></p>
<p>西門^ノ南^ノ月^ノ天^ハ三^ノ昧^ノ空^ヲ加^{ヘヨ}風^ノ上^ニ作^セ潔^ク白^ク <small>觀^テ也</small></p>	<p>◎第二百十四。月天印 正僧正説。定空加風上^ニ作^セ契^ク白^ク觀^テ 第三 十六 <small>(大正75 89頁上)</small></p>
<p>二十八宿蓮^ハ合^{シテ}火^ヲ空^{ヘヨ}交^フ也 於^テ此^ニ相^ニ对^ス忿^ニ怒^{アリ}</p>	<p>◎第二百十五。二十八宿印 正僧正説。此^ニ处^ニ相^ニ对^ス忿^ニ怒^云二十 八宿印^ニ同^ク海^ノ本^ノ説^ニ第三^ノ十七^ノ</p>

<p>次_ニ風_ノ天_ノ方_ノ魔_ノ醯_ノ首_ノ羅_ノ儀_ノ軌_ノ如_ニ次_ニ</p> <p>烏_ノ摩_ノ妃_ノ定_ノ慧_ノ外_ノ縛_{シテ}地_ノ空_ノ並_{ヘテ}立_テ相_{セヨ}合_{セヨ}儀_ノ軌_ノ中_ニ此_ノ次_ニ有_リ遮_レ文_ノ茶_ノ也</p>	
<p>◎第二百十。商羯羅天印</p> <p>正僧正説此処不説塞建那天。商羯羅天。后妃。四天印。此次有遮文茶印。下文有摩醯首羅及妃二印。初印記云。如軌_云注云。儀中載於末也_{第三十八}</p> <p>(大正75 88頁中)</p>	<p>〔海大徳説。文云宿密火空交_ニ者。堅實合掌。二空二火相交。余指全合〕</p> <p>(大正75 89頁)</p>
<p>風_ノ天_ノ智_ノ拳_ノ豎_テ地_ノ水_ノ觀_{シテ}想_{シテ}風_ノ幢_ト建_レ臂_ヲ</p>	<p>◎第二百十六。風天印</p> <p>正僧正説。智拳豎地水。觀想風幢</p>

	<p>諸薬又定恵内拳<small>ニシテ</small>水<small>ニシテ</small>竖<small>テ</small>合<small>セ</small>風<small>セ</small>屈<small>シテ</small>勿<small>レ</small>着<small>ルコト</small> <small>口ノ上ニ</small>口伝<small>当三</small></p>	<p>北門<small>ノ</small>東<small>ノ</small>多聞<small>ノ</small>天<small>ハ</small>虚<small>ニ</small>心<small>ニシテ</small>掌<small>ニシテ</small>双地<small>ニ</small>入<small>テ</small>掌<small>ニ</small>交<small>ヘ</small>空<small>ヲ</small>竖<small>テ</small>風<small>ヲ</small>建<small>テ</small>火<small>ノ</small>側<small>ニ</small>屈<small>シテ</small>一寸<small>ハカリ</small>不<small>レ</small>相<small>ヒ</small> 著<small>一</small>也<small>ケ</small></p>	
	<p>◎第二百十八。諸夜又印 正僧正説。内縛水立合。風屈勿<small>レ</small>著。 安<small>三</small>口<small>上</small> 第四 十二</p> <p>(大正75 89頁下)</p>	<p>相著。毎誦二風召<small>レ</small>之三 (大正75 89頁下)</p> <p>二風当三二火側<small>レ</small>如<small>レ</small>鉤一寸許。不<small>二</small> 二地入<small>レ</small>掌相又。二空双直立也。 (海大徳説。(中略) 虚心合掌 正僧正説同<small>二</small>海説<small>一</small>也 第四 十一</p>	<p>建<small>レ</small>臂 第四十 (大正75 89頁中)</p>

<p>次東北伊舍那定拳豎火風著火背</p>	<p>諸毘舍支如常印屈火 甲著背</p>	<p>諸毘舍遮内縛申火円屈 覺印</p>	<p>諸藥又女 儀軌如</p>
<p>◎第二百二十三。伊舍那天印</p>	<p>◎第二百十一。毘舍支印 正僧正說。前印屈火 口伝云。火甲著背。第四十五 (大正75 90頁上)</p>	<p>◎第二百二十。諸毘舍遮印 正僧正說。如縁覺印内縛二火合 円 第四十四 (大正75 90頁上)</p>	<p>◎第二百十九。諸藥又女印 正僧正說。如軌云 青龍本中以三 三股地空相鎖。以二三股端各相 合 第四 十三 (大正75 90頁上)</p>

<p>諸歩多伊舍那之印<small>ナリ</small></p>	
<p>◎第二百二十四。諸部多那印 私云。可無那字。 正僧正説<small>云 第四</small> 云十七</p>	<p>正僧正説同海説也<small>第四 十六</small> 〔海大徳説。(中略) 定拳火直立。風小屈著火背慧拳按腰〕 (大正75 91頁上)</p>
<p>次東門帝釈天<small>ハ</small>内縛<small>シテテテ</small>堅<small>ニ</small>風<small>ヲ</small>如<small>クシ</small>杵<small>ノ</small>空<small>ヲ</small>亦<small>ルナリ</small>堅也</p>	<p>◎第二百二十五。帝釈天印 正僧正説同海説也<small>第四 十八</small> 〔海大徳説。東門帝釈天 (中略) 文云帝釈印内縛二風申如針空堅者。内縛二風並直立</p>

<p>持国天左拳。豎空風如鉤。不相著。右准左腕相交也。</p>	<p>日天福智。顯現合二水入掌。以二空著水側。二火頭相柱。二風舒開勿合。仰如車輅形也。</p>	<p>摩利支宝瓶。定手虛成拳。智掌以覆定。 <small>中想身</small></p>	<p>也。二空亦直立也。 <small>(大正75 91頁上)</small></p>
<p>◎第二百二十六。持国天王印。 正僧正說。左拳豎空。次風如鉤。不相著。右准左腕相交。 第四十九 <small>(大正75 91頁中)</small></p>	<p>◎第二百二十七。日天子印。 正僧正說。顯現合掌。二水入掌。以二空著水側。二火頭相柱。二風析開勿合。仰如車輅形。 第五十 <small>(大正75 91頁中)</small></p>	<p>◎第二百二十八。摩利支印。 正僧正說。宝瓶印。定虛成拳。慧掌。</p>	

<p>大梵天王三昧空持水猶如執花相</p>	<p>七曜十二宮九執 <small>ハ一切諸曜</small> 定慧輪頭合空 <small>ハシ</small> 建置心 <small>ニ云</small> 云</p>	
<p>◎第二百三十一。梵天印</p>	<p>◎第二百三十。九執印 正僧正説同海説也。又云。七曜十二宮九執同此印。又云。儀軌有二切宿印。九執印空火交 <small>第五十二</small> <small>〔海大徳説。(中略) 二手堅実合掌也。空輪並而申者。二空並直立也。空与風相離也。即前普世天普印 私云。前無普世天印。亦如前説也。〕</small> <small>(大正75 91頁下～92頁上)</small></p>	<p>以覆定。一切諸難中。想身入其中。天人眼不得見之 <small>第五十一</small> <small>(大正75 91頁下)</small></p>

<p>摩睺羅伽 諸緊那羅 諸人^ノ印 普世明妃^ハ普掌</p>	<p>諸阿修羅王^ハ智風^ノ繞^{マドヒテ}空^ノ上^ニ余散舒^ハ</p>	<p>乾闥婆王^ハ内縛^{シテ}申^{ヘヨ}水^ヲ名^ク樂天^ト也</p>	
<p>◎第二百三十六。緊那羅印 正僧正説。摩睺羅緊那羅諸天人 普世明妃普通掌 云 第五十六。 云 七。八。九。</p>	<p>◎第二百三十五。諸阿修羅印 正僧正説。智風絞^ニ空^上。余散舒 第五十五 (大正75 92頁中)</p>	<p>◎第二百三十四。乾闥婆印 正僧正説。内縛申水。名^ニ樂天^ト 第五 十四 (大正75 92頁中)</p>	<p>正僧正説。定空持^レ水。猶如^ニ執^レ華相^ト 第五十三 (大正75 92頁上)</p>

	<p>次^ニ蘇^ニ悉^レ地^ノ印^ニ 準^{シテ}驚^ニ覺^ニ火^ノ輪^ノ印^ニ直^ク豎^テ地^ノ水^ノ火^ノ各^ケ背^ケ相^ケ著^ケ二^ノ空^ノ各^ノ頭^ノ</p> <p>柱^ニ火^ノ根^ニ也 若^シ欲^シ奉^レ請^セ諸^ノ尊^ヲ先^ツ手^ニ執^テ香^ノ炉^ヲ以^テ加^テ持^ノ明^ノ淨^ニ治^シ空^ノ中^ノ道^ノ</p> <p>路^ヲ想^ハ有^リ清^ノ淨^ノ界^ノ道^ヲ然^{シテ}後^ニ奉^レ請^セ諸^ノ尊^ヲ若^シ無^ク香^ノ炉^ヲ作^ル手^ノ印^ヲ亦^モ得^ル謂^ク空^ノ中^ニ</p> <p>有^ル諸^カ天^ノ龍^ノ神^ノ宮^ノ殿^ノ故^ニ</p>	<p>不^レ動^ノ尊^ハ云^ハ如^シ儀^ノ</p> <p>云^ハ軌^ノ文^ノ</p>	<p>金^ノ剛^ノ鉤^ノ印^ノ内^ニ縛^{シテ}鉤^シ屈^{スル}二^ノ風^ノ也^ヲ</p>
<p>次^ニ結^ニ淨^ニ治^ニ路^ノ等^ノ諸^ノ印^ニ</p> <p>(大正75 92頁上)</p>	<p>◎第六十一。治路印</p> <p>正僧正説。准^ニ法^ノ界^ノ生^ノ印^ニ立^ニ地^ノ水^ノ火^ノ</p> <p>背^ケ合^ケ二^ノ風^ノ側^ノ柱^ノ。二^ノ空^ノ著^ニ二^ノ火^ノ本^ノ。</p> <p>(大正75 60頁上)</p>	<p>◎第六十二。不動明王印</p> <p>正僧正説如^レ軌^ノ云^ハ</p> <p>(大正75 66頁下)</p>	<p>◎第六十四。召請印</p> <p>正僧正説。金^ノ剛^ノ鉤^ノ印^ノ内^ニ縛^{シテ}二^ノ風^ノ鉤^ノ</p> <p>不^レ説^ニ三^ノ部^ノ心^ノ印^ノ。但^{シテ}云^ハ鉤^ノ真^ノ言^ノ</p> <p>終^ニ加^ニ四^ノ字^ノ明^ノ以^テ為^ス鉤^ノ索^ノ鎖^ノ鈴^ノ</p> <p>(大正75 67頁下)</p>

立身印定慧二拳側著諸輪節当心前三遍上下想為迦樓羅炎也

用不動尊印作除遣從魔毘那夜迦等也

次用入仏三昧耶如上
味耶示之想三部諸尊也

次以慧掌執智杵次以定手覆取鈴股傾外口腰了即執杵三遍抽
擲次逆順三遍即上下次加五處了住胸前次徐徐
豎鈴当眉上耳邊振五遍次胸前各二遍也

◎第六十八。遣除從魔印

正僧正說。次不動立身印即火輪印也。定慧二拳側著諸輪節。仰二風柱当於心前。三度上下。想成迦樓羅炎。次以不動印作除遣從魔法。印相同珍和上。

〔珍和上說。但以刀鞘安レ心以レ刀三轉辟除不レ作結果〕
(大正75 68頁上)

◎第六十九。示三昧耶

正僧正說同意說也。然於此次用振鈴法。左手執鈴安居腰
頸時当於五胡之間取之
右手執杵三度抽
亦執其首。若執

闕
伽
如_シ儀_ノ中_ノ想_ヘ三_ノ部_ノ諸_ノ尊_ヲ又_ニ觀_シ身_中
三_ノ重_ノ曼_ノ茶_ノ羅_ノ諸_ノ尊_ヲ隨_レ樂_ニ啓_セ白_セ耳

擲。次左三轉辟除。次右三轉結界。
次印_ニ上_ノ方。次印_ニ下_ノ方。次印_ニ五_ノ処。次
安_ニ於_ニ胸。次以_ニ左_ノ鈴_ノ左_ノ肩_ノ當_ニ於_ニ耳_ノ邊。
五遍振_レ之。次胸次額各三遍振_レ之。
次以_ニ杵_ノ鈴_ノ安_ニ本_ノ處_ニ也。金剛界中又
云。初左肩_上三振。次於_ニ額_ノ前_ニ三振。
自余同_ニ此_ノ中_ノ說_ニ
〔意大德說。前三昧耶印真言是
也〕

(大正75 68頁上ノ中)

◎第七十。闕伽印
正僧正說。如_ニ儀_ノ軌_ノ中_ノ想_ノ三_ノ部_ノ諸_ノ尊_ヲ。
又觀_ニ身_ノ中_ノ三_ノ重_ノ曼_ノ茶_ノ羅_ノ隨_レ意_ニ啓_セ白

奉花座

次以不動印示九仏座位次第。示第一二三重院諸尊位。相準世客
之礼。想

云 或有頌云。以此本清淨水。洗浴
聖者無垢身。唯願本尊以本願。願
垂哀愍受闕伽。若無闕伽之時以
此運心而供養之。其印螺印。虚心
合掌以風絞空。若有器者用飲食
印

(大正75 68頁下)

◎第七十一。蓮華座印

正僧正說。蓮華座印如常也。但於
此次用不動印。以不動刀印。
左安腰以右印示尊位。准世間主
客礼想之。
一示毘盧遮那仏位。二示宝幢仏
位。三示華開敷仏位。四示阿弥陀

金剛手^ハ五股^三亦得也^モ
加^キ五^モ処^ヲ也^也

仏位。五示天鼓雷音仏位。六示普賢菩薩位。七示文殊師利菩薩位。八示觀世音菩薩位。九示弥勒菩薩位。十示五髻文殊菩薩位。十一示除蓋障菩薩位。十二示地藏菩薩位。十三示虚空藏菩薩位。十四示釈迦文仏及一切世天等位。上十四位各各一度指而示之。但至釈迦及世天位唯総一度横引投之
從左引右

(大正75 68頁下~69頁上)

◎第七十二。転大日身作執金剛身印

<p>被_レ甲_二胄_一云</p>	<p>降_レ魔_ハ慧_ハ拳_ノ舒_{ヘテ}風_ヲ加_{ヘヨ}眉_間毘_{聚_レ眉_ヲ怒_シ眼_ヲ如_ニ}俱_形眦_一</p>	<p>◎第七十三。遍身被甲印 正僧正說。被甲_云</p> <p>(大正75 69頁中)</p>	<p>結_ニ大_ハ界_ハ定_ハ慧_ハ虛_ハ心_ハ合_{ニシテ}風_ハ輪_ハ屈_{シテ}入_レ内_ニ空_ハ合_セ豎_テ散_シ舒_{ヘテ}水_ハ輪_ハ地_ハ輪_ハ小_ク屈_{セヨ}用_{ルコト}印_ヲ</p> <p>一如_ニ不_レ動_尊結_ハ 又有_リ略_リ真_言也</p>	<p>◎第七十四。怖魔印 正僧正說。慧拳舒風加眉間。聚眉怒眼如毘俱眦形</p> <p>(大正75 69頁中)</p>	<p>◎第七十五。難堪忍大界印 正僧正說。大結界虛心合掌。二風屈入掌。二水散立。二地少屈。用印</p>	<p>正僧正說。次金剛手五股三股亦得。加持五処_云</p> <p>(大正75 69頁上)</p>
-------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

	<p>無能勝定為拳豎翼輪開智拳心舒風如相擬勢也</p>	<p>無堪忍準前印。火鉤頭屈合舒風。余同上也。 如先四印</p>	
<p>正僧正説。無能勝三昧為拳拳翼</p>	<p>◎第七十七。門門置二守護神印</p>	<p>◎第七十六。四方四大護印 正僧正説。大界後云。次無堪忍印。 次四大護印。無堪忍印者。準前大 界印。二火如鉤入内。首屈合之舒 二風也。余指準上。四大護印者如 前。此無堪忍印与前三所出無堪忍 印異也 私云。四印在前 無堪忍印処也 (大正75 70頁中)</p>	<p>儀式如不動尊結印。又有略真言 云 (大正75 69頁下)</p>

相向守護^{ハケケテ}拳^ノ慧^ノ拳^ヲ状^チ如^シ相擊^ツ勢^ノ也

次塗^ニ香^ハ觀^ノ掌^ヲ向^ヘ外^ニ止^シ手^ヲ握^レ觀^ノ腕^ヲ
出^シ塗^シ香^ヲ雲^ヲ遍^シ法^ヲ界^ヲ供^ス三^ノ部^ノ諸^ノ尊^ニ云^ク

奉^ハ花^ハ八^ハ度^ハ内^ニ叉^{ヘテ}仰^ケ開^キ風^ノ頭^ノ相^ノ柱^{ヘテ}形^チ如^{セヨ}掬^{スル}花^ヲ勢^ノ

輪開。智拳心舒風。如相擬勢也。相
向守護拳慧拳状如相擊勢也
(大正75 70頁下)

◎第七十九。塗香印

正僧正說同海本說 但云。定手覆
握慧腕。又云。

水輪為^ニ仏部。火輪為^ニ蓮華部。風輪為^ニ金
剛部。從^ニ此三輪流出塗香雲海。供^ニ養三
部諸尊觀^レ之。私云。大師遺風以^ニ定四輪
承^ニ慧腕下。空輪著^レ握^レ之。靈巖等伝以^ニ定
四輪覆^ニ慧腕上空輪著^レ下
握^レ之。今正僧正所伝同^レ之

〔海大徳説。慧手五輪手末挙上。

直豎向^レ外也。定手豎握慧手腕

下。三誦獻^レ之〕

(大正75 71頁上)

◎第八十。華鬘印

燒香六度内背豎二風頭側合。空各附於風也

正僧正說同海本說但云。風側柱為異。又云。又指是華形。如掬華勢也

〔海大德說。先仰二手。十輪内又成峯。二空著二風側。与大海印相似。師說云。印指端相叉。掌峻成峯謂指端高而腕低是也是以与大海印為異。当心三誦供之〕
(大正75 71頁上)

◎第八十一焚香印

正僧正說同海說也但云。風端柱合。又云。二風是烟也

〔海大德說。二手各拳仰拳舒二風。其端少開不相柱也。二火二

<p>灯明観拳竖火輪空柱火下文 <small>ヲ運想無辺刹一一諸仏前光明 為仏事三遍振竖之想火炎形</small></p>	<p>飲食二地側著水火風頭合空附風下由如食器形也</p>	
<p>◎第八十三。灯明印 正僧正説。慧拳立火。以空著火下 文。運想無辺。到一一諸仏前光明 為仏事。三遍振之。想火炎形也 (大正75 71頁中)</p>	<p>◎第八十二。飲食印 正僧正説同海説也 〔海大徳説。一手甲相合。二掌作 掬。二空押一風上節。如鉢形<small>同地</small> 印 三誦供之〕 (大正75 71頁中)</p>	<p>水二地掌内直立。背相著也。以 二空著風側三遍供之 (大正75 71頁中)</p>

<p>啓謝 如儀 軌文</p>	<p>法身讚 <small>「心略讚也」</small> 慶等隨用 <small>金剛拳又四智吉</small></p>	<p>虚空蔵明妃金剛掌 <small>ナリ凡上一一言印上運心想遍法界而供三部諸尊利</small> <small>想之又想印上有種子</small> <small>字。從字流出一一供具光明</small></p>
<p>結三十二嚴身印明 <small>云云</small> 此正僧正</p>	<p>◎第八十五。大悲曼荼羅讚王印 正僧正説。用法身讚。或四智讚。或 吉慶讚。隨用其一。次啓謝如軌。次</p>	<p>◎第八十四。普供養印 <small>但云。凡上一一</small> 正僧正説同海印相 <small>言印上運心</small> <small>想遍</small> 而供三部諸尊塵刹聖衆。又 <small>法界</small> 觀身中三重曼荼羅。自上徐引印 致下運想之。又想印上有種子 <small>一</small> 子字。從字流出一一供具光明 <small>一</small> <small>〔海大徳説。金剛合掌。安頂三誦。〕</small> 運心如常 <small>(大正75 71頁下)</small></p>

	<p>入<small>「已下如来身会」</small>仏三昧耶</p>	<p>法界生</p>	<p>法輪<small>並ニ如上レ也</small></p>	<p>大慧刀定慧金剛掌<small>ニシテヲ以</small>風<small>セ</small>捻<small>ヲ其ノ形如ニ</small>空<small>ヲ其ノ形如ニ</small>憩伽也</p>
<p>觀曼荼羅結四重印。次修召請。結界五供讚等後結嚴身之印。故於此次結三十二印。 <small>(大正75 72頁上)</small></p>				<p>◎第二十七大慧刀印 正僧正同海說也。定慧金剛掌風捻空<small>其形如ニ</small>憩伽也</p>

<p>金剛大慧外縛五股<small>ナリ内縛モ</small>亦得</p>	<p>蓮花座<small>ハ</small>定慧合<small>シテ</small>舒散<small>ヘシテ</small>如健<small>セヨ</small>吒<small>ノ</small>如常<small>ノ</small>宜<small>シ</small>不壞<small>ニ</small> 金剛座也</p>	<p>大法螺<small>ハ</small>定慧虚心掌<small>ニシテ</small>屈風<small>シ</small>空絞<small>ヲ以下ニ云</small> 云</p>	
<p>◎第三十。金剛大慧印</p>	<p>◎第二十九。蓮華座印 正僧正説。定慧合舒散。如健吒<small>一</small> 如常。謂不壞 金剛座也 (大正75 60頁中下)</p>	<p>◎第二十八。法螺印 正僧正説同珍和上説也。定慧虚心合掌。屈風空絞之。風頭相著。押空上節<small>一</small>当<small>レ</small>口如吹状<small>一</small> 〔珍和上。以レ口吹之<small>此二說中並無右転之言</small>〕 (大正75 60頁中)</p>	<p>〔海大徳説。同前大慧刀印〕 (大正75 60頁中)</p>

<p>毫相^ハ上^ノ拳^ヲ置^ケ眉^ケ間^ニ <small>指^ニ拳^ヲ以^テ大^ニ指^ヲ著^シ眉^ノ間^ニ左^ノ拳^ヲ安^シ腰^ノ可^レ依^ル口^ニ伝^ニ</small></p>	<p>如來頂相^ハ慧^ノ拳^ヲ風^ノ節^ヲ安^ケ頂^上ニ</p>	<p>如來頂^ハ内^ニ縛^{ニシテ}火^ヲ空^ニ豎^テ合^セ風^ノ屈^{シテ}著^{ケヨ}火^ノ背^ニ如^レ宝^ノ是^レ也</p>	
<p>◎第三十三。毫相印 正僧正說同海說也 <small>但云。上拳置眉間。口伝云。已下</small></p>	<p>◎第三十二。如來頂相印 正僧正說。以慧拳風節著之頂上 <small>(大正75 60頁下)</small></p>	<p>◎第三十一。如來頂印 正僧正說同海說也 <small>〔海大德說。用金輪仏頂印。前同下〕 心置無生句印。經云。此印是如來頂。結同世尊〕 <small>(大正75 60頁下)</small></small></p>	<p>正僧正說。外縛五股印是也 <small>(大正75 60頁下)</small> 内縛亦得</p>

	<p>施無畏舒慧手向上也<small>左如上</small></p>	<p>大鉢定慧累臍間如持鉢相<small>取袈裟角見儀軌也</small></p>	
<p>与<small>二</small>右肩<small>一</small>齊</p> <p>(大正75 61頁上)</p>	<p>◎第三十五。施無畏印 正僧正説同海説也 〔海大徳説。左手安腰右手舒立。〕</p>	<p>◎第三十四。大鉢印 正僧正説。定慧疊於臍間如持鉢相<small>取袈裟角見儀軌也</small>。 左掌上置右掌背也。 (大正75 61頁上)</p>	<p>五印取袈裟角。或云。舒大指拳。以大指<small>二</small>着眉間<small>一</small>。左拳安腰。可依口伝 〔海大徳説。作金剛拳。定同前。慧拳指額。由<small>二</small>此印故滿一切願<small>一</small>〕 (大正75 60頁下〜61頁上)</p>

与願準前慧掌垂下也定如上

悲生眼弟子之眼慧拳以空押地竖舒水火以水成弘眼又灌頂時用此開左印左取袈裟角已上五箇

如来索定慧内拳舒風頭合壞造惡者縛不善者

◎第三十六。与願印

正僧正說同惠和上說

〔惠和上說。慧掌舒臂向外。定同

前也〕

(大正75 61頁中)

◎第三十七。悲生眼印

正僧正說。慧拳以空押地風甲立

水火指二眼。先右次左。想成弘眼。

又灌頂時用此開眼已上五印。左

取袈裟

(大正75 61頁下)

◎第三十八。如来索印

正僧正說同海說也但云。壞造惡者縛諸不善

<p>如来腰内縛舒_ハ堅_{シテ}風火頭相著_{ハシ} 傳_{ケヨ}是_レ口也</p>	<p>如来臍準_{ハシテ}上加_ニ堅_{ハテヨ}水_ヲ是_レ口也</p>	<p>舒_{ヘテ}風火_ヲ如_レ鉤_ノ也 如来心以_ニ定_テ空_ヲ押_{シテ}四大甲_ヲ円環_ヲ次_ニ以_ニ慧_テ空_ヲ入_{レテ}環_ノ中_ニ亦_{シテ}押_{シテ}四大甲_ヲ更</p>	
<p>正僧正説。内縛舒_ハ堅_{シテ}風火頭相著 ◎第四十一。如来腰印</p>	<p>正僧正説。準_レ上加_ニ堅_{ハテヨ}水_ヲ是_レ口也 ◎第四十。如来臍印 (大正75 61頁下)</p>	<p>甲_ヲ更_{シテ}舒_ハ慧_ヲ風火_ヲ如_レ鉤_ノ (大正75 61頁下) 次以_ニ慧_テ空_ヲ入_{レテ}環_ノ中_ニ亦_{シテ}押_{シテ}慧_ヲ四輪 正僧正説。以_ニ定_テ空_ヲ押_{シテ}四輪甲_ヲ円環_ヲ ◎第三十九。如来心身</p>	<p>〔海大徳説。内縛_ニ風屈_ニ堅_ニ相柱_ニ如_レ素〕 (大正75 61頁中)</p>

<p>普光^ハ定慧相合^セ。二火入^ニ掌^ニ。水風開^キ豎^テ地^テ合^{シテ}頭^ヲ入^レ掌^ニ也。</p>	<p>如來藏^ハ虚心合掌^{シテ}。地水鉤^シ屈^{シテ}頭^ヲ不相著^ケ。火輪^ニ如^ク峯^ノ風空頭^ハ聚^メ合^セ捻^セ。</p> <p>是^レ口^ヲ傳^フ也。</p>	<p>是口 傳也</p>
<p>◎第四十三。普光印 正僧正說同^ニ海說^ニ也。但云^ニ地入^レ掌^ニ。 〔海大德說。二火入^レ内相^ヲ又。二風 二水一一孤立。二空捻^ニ火^ヲ又上^ニ 二地相合直立。不^レ同^ニ儀軌。是名^ニ 金剛薩埵^ニ円光真言^ニ印^ニ也〕 (大正75 62頁上)</p>	<p>◎第四十二。如來藏印 正僧正說。虚心合掌。地水鉤^シ屈^{シテ}。不^レ 頭著^ケ。火輪^ニ如^ク峯^ノ風空頭^ハ聚^メ合^セ捻^セ。 是口 傳也 (大正75 62頁上)</p>	<p>(大正75 61頁下)</p>

如来甲^ハ空心合掌^{シテヲ以}風持^シ火背^ヲ空著^{ハケヨ}火側^{ノリニ}也

如来舌^ハ準^{シテ}甲^ニ空入^テ掌^ニ指^セ水根^ノ下^ヲ也^{口伝}

◎第四十四。如来甲印 甲鏡也

正僧正説同^{海説}也 但不^レ云^レ指異名及十二処

〔海大徳説。空風火水地亦名^二輪

蓋光高勝^二也。虚心合掌。二蓋少

屈立^二光後^一当心。三誦頂散。漸

下作^二金剛拳^一。直立^二蓋^一。於^二慧蓋

端^レ想^レ有^二字^一。於^二定蓋端^レ想^レ有^二字

字^二每^二十二処^一三輪。各誦^二甲明^一同^二

前金剛甲印儀式^一

(大正75 62頁上)

◎第四十五。如来舌相印

正僧正説。如^二前甲印^一空著^二水

本

(大正75 62頁中)

<p>如来語^ハ虛心^ハ合掌^{シテ}風水^{シテ}屈相^{シテ}捻^シ。二空少^キ屈^シ地^シ火^ハ峯^{ハシ}豎^テ或^ハ云^ク地^ハ水^ハ屈^シ風火^ハ峯^ハ。二</p> <p>附^レ之^ニ空^ハ開^テ</p>	<p>◎第四十六。如来語印</p> <p>正僧正說同^レ海說^一也。又様^レ屈^レ地^レ水^レ風火^レ如^レ峯。二空開著</p> <p>〔海大德說。虛心合掌。二火相合直立。二風二水各端相柱令^レ円。二空少屈。一地如^レ本。不^レ同^レ儀軌〕</p> <p>(大正75 62頁中)</p>
<p>如来牙^ハ同^{シテ}語^ハ初^ノ印^ニ風^ニ屈^{シテ}第三^ノ節^ヲ入^テ掌^ニ相^セ合^セ空^ヲ著^{ケヨ}風^ノ側^{リニ}也</p>	<p>第四十七。如来牙印</p> <p>正僧正說同^レ前語印。屈^レ風^レ第二^レ節^一入^レ掌。空著^レ二風側^一</p> <p>(大正75 62頁中)</p>
<p>如来辯說^ハ同^{シテ}牙^ニ移^{シテ}風^ヲ置^キ火上^ノ節^ニ二空^ニ如^{セヨ}招^{ケカ}也</p>	<p>◎第四十八。如来辯說印</p> <p>正僧正說同^レ前牙印。移^レ空^レ安^レ火上^レ</p>

	<p>如来念^ハ処^ハ虚^ハ心^ハ合^ハ掌^{シテ}以^テ風^ヲ押^セ空^ノ上^ニ口^ヲ伝^セ也</p>	<p>如来十^ハ力^ハ虚^ハ心^ハ合^ハ掌^{シテ}地^ニ空^ニ入^レ掌^ニ節^ニ相^セ合^セ也</p>	
	<p>第五十。如来念^ハ処^ハ印^ニ 正僧正説。虚^ハ心^ハ合^ハ掌^シ以^レ風^ヲ押^セ空^ニ上^ニ口^ヲ伝^セ也</p> <p>(大正75 62頁下)</p>	<p>与^ニ儀^ニ軌^ニ異^ニ (大正75 62頁下)</p> <p>〔海大徳説。虚^ハ心^ハ合^ハ掌^シ。二空^ニ入^レ月^ニ。二節^ニ相^ニ柱^ニ。二地^ニ屈^レ背^ニ入^レ月^ニ。二節^ニ相^ニ柱^ニ。自余三輪勿^レ動^レ。師説此印</p>	<p>節^ニ (大正75 62頁下)</p>

<p>平等開悟合掌以地水各握空頭火直合豎風頭円合也 <small>ハシテニセヨヲハハクセテノハクセテノニセヨ口伝</small></p>	<p>普賢如意珠虚心合掌風加火不相著 <small>シテテニレレケ</small></p>	<p>慈氏同前屈風於火下已上義準如 <small>ハシテニセヨヲラノニ已上義準如</small> <small>来身会也</small></p>
<p>第五十一。一切法平等開悟印 正僧正説。二手各以地水押空甲。 以二火合立。二風横柱 <small>(大正75 62頁下)</small></p>	<p>◎第五十二。普賢如意珠印 正僧正説同珍和上説 <small>(珍和上説。虚心合掌。二風随二 火後勿著火。二火端少開之)</small> <small>(大正75 63頁上)</small></p>	<p>◎第五十三。慈氏印 正僧正説同前如意珠印。但下風 輪著火輪下。已上義準如成身会 也 <small>(大正75 63頁上)</small></p>

一切三世無闕力明妃^ハ如來頂是^レ也

無能害力明妃^ハ用^ニ梵夾^ヲ
左^ニ轉^{スル}為^ニ小乘^ト
右^ニ轉^{スル}為^ニ大乘^ト

◎第五十四。一切三世無碍力明妃印

正僧正說同海說也

〔海大德說。用前仏頂印〕

(大正75 63頁上)

第五十五。無能害力印

正僧正說。梵篋印

右轉為大乘篋。左轉為小乘篋。

掌直合函。二掌曲合。是金剛界十

六尊中文殊印也。私云。此正僧正

器世界。次觀曼荼羅起自大日至

迄世天四重印明先皆作之。次修

供養。次以此上三部乃至無能害

力三十二印安於啓謝之後。加持

次取^ニ数珠^ヲ加持^{スルコト} 如^{シテ}常^ノ即^チ置^ケ之^ヲ 更^ニ住^{シテ}定^ニ印^ニ觀^{セヨ}字^ニ義^ヲ。一切^ノ諸^ノ法^ヲ本
 不生^{ナルガ}故^ニ即^チ我^カ身^ヲ及^ヒ衆^ノ生^ノ身^モ同^ク亦^モ本^ト不生^{ナリ}。自^ト身^ト衆^ト生^ト本^ト不生^{ナルガ}故^ニ諸^ノ佛^ノ
 本^モ性^モ亦^モ本^ト不生^{ナリ}。是^レ故^ニ知^ス之^ヲ。衆^ノ生^ト界^ト佛^ト界^ト法^ト性^ト平^ト等^ト一^{ナリト}味^也云^云 如^ク
 是^レ想^ヒ了^テ作^テ本^ヲ印^ヲ加^フ持^{セヨ} 即^チ取^テ珠^ヲ入^ニ掌^ニ以^テ是^レ定^ニ慧^ノ空^ノ風^ヲ聚^メ取^リ算^ス珠^ノ線^ヲ
 自^リ三^ニ四^ニ指^ヲ頭^ノ中^ニ。双^ニ出^{ヘシテ}算^珠而^テ垂^レ下^シ。舒^ヘ二^ニ豎^ニ翼^ヲ輪^ヲ頂^ニ戴^{スルコト}三^ニ遍^シ。即^チ以^テ二^ニ慧^ノ風^ヲ
 空^ヲ把^リ二^ニ母^ヲ珠^ヲ三^ニ遍^シ旋^{ルコトクシ}。如^レ常^ノ了^テ以^テ二^ニ定^ニ慧^ノ空^ノ水^ヲ執^レ珠^ヲ間^ヲ五^ニ寸^ヲ許^ス。更^ニ捧^{ニテ}二^ニ羽^ヲ
 輪^ヲ使^メ二^ニ珠^ヲ擬^レ眼^ニ。即^チ降^{シテ}当^テ胸^ニ為^レ定^ト。以^テ二^ニ慧^ノ空^ノ水^ヲ移^レ珠^ヲ与^レ声^ヲ共^ニ了^レ云^云 既^ニ念^ス

念珠之前故。於此處並皆不用
 青龍寺三卷別卷以安此等印安大
 讚後。伝受之時廻諸尊印皆安共前。撰
 大儀軌以此等印安中台後。遍智
 印摩尼珠仏眼印後。其後說三重
 說諸尊印也

(大正75 63頁中)

誦^シ畢^ハ入^レ珠^ヲ掌^中如^ク前^ノ頂^戴三^遍置^ケ珠^本處^ニ 即^チ作^テ本^印加^持五^處
住^シ定^ニ觀^シ字^義了^テ 復^テ作^テ本^印加^持 即^チ陳^テ虛^空眼^ニ以^テ印^言加^持眼^ニ
界^ヲ先^ッ右^後左^各各^二
遍^シ亦^シ同^シ常^仏眼^儀

次^ニ五^供并^ニ普^供養^讚及^ヒ闕^伽 云^ニ
云

次^ニ加^持句^用金^剛掌^ヲ可^レ想^フ誓^令法^眼久^住世^誠云^ニ
此^真言^非佞^法者^勿授^之

次^ニ作^シ無^堪忍^第二^印解^レ界^ヲ謂^ク逆^ニ
轉^レ之^ヲ

更^ニ用^ニ入^レ仏^三昧^耶加^持 常^ニ存^ニ念^我也^ヲ
者^不捨^本誓^ヲ

次^ニ發^遣 先^ニ以^ニ火^捻花^誦現^前諸^如來^頌并^ニ
誦^シ發^遣真^言了^投花^云
云

如^ク初^ノ修^シ九^ニ方便^ヲ及^テ誦^{セヨ}時^ニ偈^ヲ若^シ樂^シ欲^{セハ}有^ハ事^ハ行^ヒ廻^ル

事^ノ常^ノ法^ヲ耳^ヲ凡^ソ來^ル句^ニ稱^{セヨ}曳^ハ係^ト送^リ句^ハ藥^ニ車^{ナリ}藥^ニ車^{ナリ}

師^ノ子^ノ座^ニ真^ニ言^ニ曰^ク